SHARP®

ターボ博士レキシコン

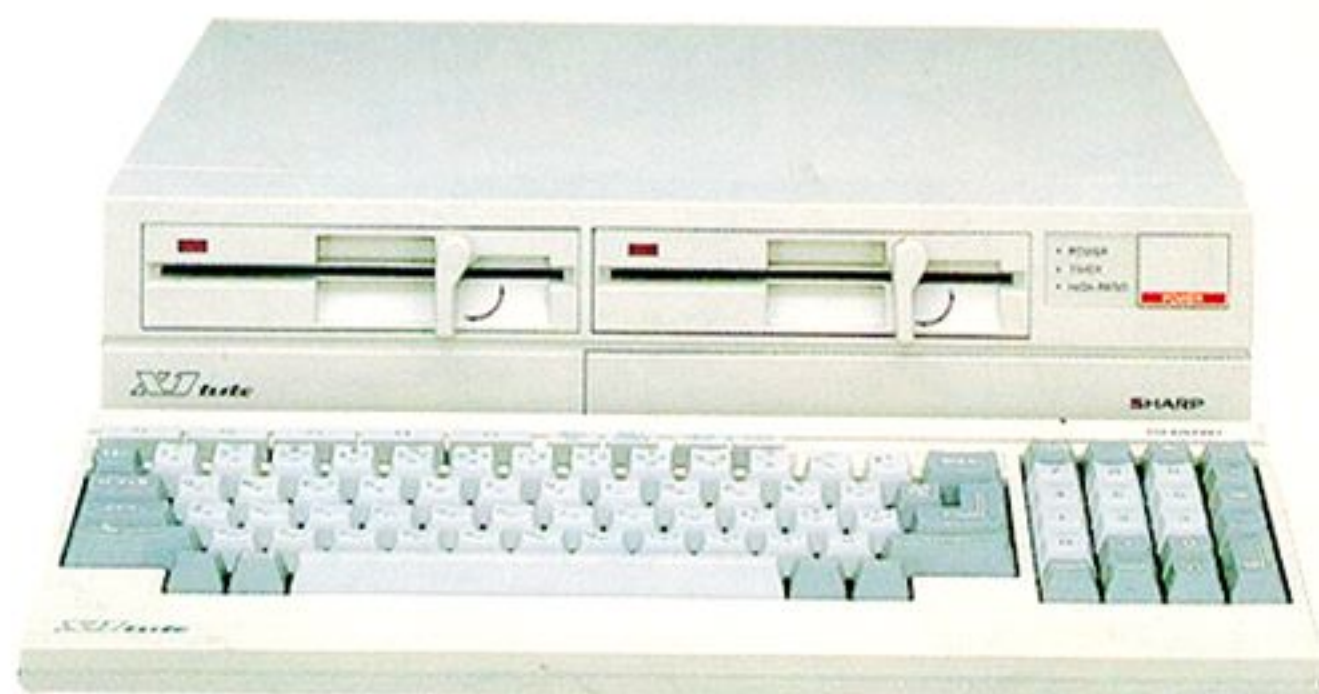
LEXICON WORD POWER

日本語百科 ワードパワー

説明書

パソコンテレビ X1 turbo
パーソナルコンピュータ
形名

CZ-856C

上手に使って上手に節電

製造番号は、品質管理上重要なものですから商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

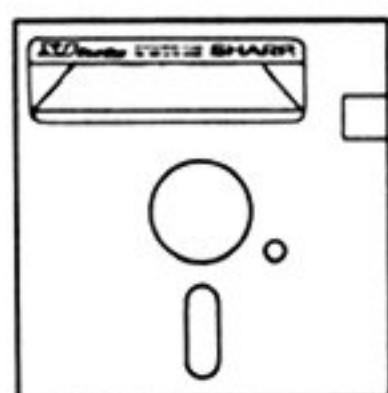
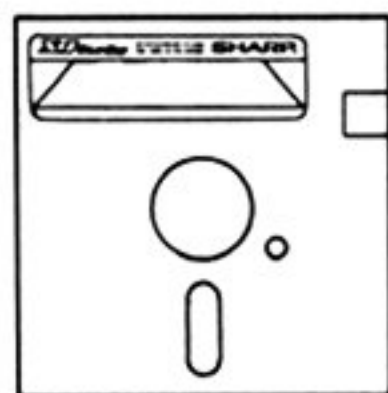
はじめに

この説明書では、

- ●ターボ博士レキシコン"ＬＥＸＩＣＯＮ"
- ●日本語百科ワードパワー"ＷＯＲＤ　ＰＯＷＥＲ"
- ●辞書変更ユーティリティ

について説明します。

取扱説明書をお読みになったら、この説明書をお読みください。「パソコンテレビＸ１turbo」を能率的にお使いになれるでしょう。

同梱のフロッピーディスク５枚のうち、レキシコンのディスクは１枚、ワードパワーのディスクは２枚に収録されています。辞書変更ユーティリティはレキシコンのディスクの中にあります。

レキシコン　ディスク１枚

ワードパワー　ディスク２枚

レキシコン、ワードパワーは大切に保管し、コピーされたものをご使用ください。

コピーのしかたは『アプリケーションソフトの説明書』の「１章　ディスクユーティリティ
１．ＦＯＲＭＡＴ ＆ ＣＯＰＹ．Ｕｔｙの使用法」をお読みください。

◎レキシコン、ワードパワーには種々のファイルが登録されています。

ファイル名を表示するには、フロッピーディスクドライブ０にレキシコン（またはワードパワー）を入れて、

```
FILES"0:" ↵
```

と入力してください。ただし、ワードパワー　ＷＯＲＤ　ＰＯＷＥＲ（Ｂ）のファイル名はとれません。

①レキシコン

```
Asc    "0:ユーザー 変換.DIC"  → ①
Bas    "0:辞書変更ターボ2.Uty"  → ②
```

①レキシコンのデータが登録されています。

②レキシコン、ワードパワーを変更するユーティリティで、ことば（または命令・例文など）を削除・登録します。

②ワードパワー　ＷＯＲＤ　ＰＯＷＥＲ（Ａ）

```
Asc    "0:システム 変換.DIC"
```

ワードパワーのデータが登録されています。

〈注意事項〉

①レキシコン、ワードパワーともX1turboのディスクBASIC　CZ-8FB02 V1.0でのみ使用してください。

②80字モードで使用してください。

●標準ディスプレイモード　　　WIDTH80，12※

●高解像度ディスプレイモード　WIDTH80，25※またはWIDTH80，12

（※BASIC起動時の初期状態）

③オプションのシステム・ユーザー辞書（CZ-111SF）を使用する場合、次の点に注意してください。

●レキシコンは、日本語入力モードのユーザー辞書変換方式で使用します。

[SHIFT] キーを押しながら [F5] キー（[F10] キー）を押します。続いてレキシコンをフロッピーディスクドライブから取り出し、オプションのユーザー辞書と入替えた場合は、必ず [F10] キーを押して再設定してください。

逆に、ユーザー辞書からレキシコンに入替えた場合も同様に再設定してください。

●ワードパワーは、日本語入力モードのシステム辞書変換方式で使用します。

[SHIFT] キーを押しながら [F4] キー（[F9] キー）を押します。続いてワードパワーをフロッピーディスクドライブから取り出し、オプションのシステム辞書と入替えた場合は、必ず [F9] キーを押して再設定してください。

逆に、システム辞書からワードパワーに入替えた場合も同様に再設定してください。

④ワードパワーにおいて、オプションのJIS第2水準漢字ROMがコンピュータ本体内に装着されている場合は、JIS第2水準漢字が表示されます。

装着されていない場合は■が表示されます。

⑤レキシコン、ワードパワーは、日本語入力モードで使用します。詳しくは『ユーザーズマニュアル』の応用編5章「日本語処理」をお読みください。

⑥変換フィールドエリア※内における「－」（マイナス）と「ー」（横バー）について

（※3，20，24ページ参照）

●「－」（マイナス）…テンキーの[－]、または[－ホ]

テ2-1，3-1など見出し語の「－」に使用します。

●「ー」（横バー）……[ヘ]または[ー]

アスキー、フロッピーなど、ことばの一部として使用します。

⑦レキシコン、ワードパワーとも学習機能※はありません。

※学習機能とは、使用したことば（漢字・命令または例文）を同一グループ内の先頭に配置変換する機能です。

⑧辞書のモード（レキシコンの場合はユーザー辞書変換方式、ワードパワーの場合はシステム辞書変換方式）を切換える場合には、切換えるべき辞書がセットされていることを確認してからおこなってください。

モードの変換が正常に行なわれなかった場合には、モードの設定をやりなおしてください。

〈全角文字・半角文字〉

全角文字

全角文字は、２バイトのコードとしてＢＡＳＩＣ内部で処理されており、そのフォントが１６×１６ドットで構成された文字を指します。

漢字、ひらがな、あるいは１６×１６ドット構成の英数字、カタカナなどをいいます。

半角文字

半角文字は、1バイトコードとしてＢＡＳＩＣ内部で処理されており、そのフォントが8×8ドット、１６×８ドットで構成された文字を指します。

通常、キー入力された英数字、カタカナなどをいいます。

もくじ

ターボ博士レキシコン"ＬＥＸＩＣＯＮ"

日本語百科ワードパワー"ＷＯＲＤ　ＰＯＷＥＲ"

辞書変更ユーティリティ

ターボ博士レキシコン
LEXICON

1　概要

ターボ博士レキシコン"ＬＥＸＩＣＯＮ"は「パソコンテレビＸ１turboを能率的に使いこなせるように」という狙いで開発された辞書形式のＢＡＳＩＣのプリプロセッサです。「説明のいらないパーソナルコンピュータができないか」というのがパーソナルコンピュータを購入された方がいつも口にすることばです。

マウスやアイコン表示による方法も検討されていますが用途が限られます。

また、日本語のコマンドによる言語も提案されてきましたが、普及するに至っていません。

その間にパーソナルコンピュータの台数は増え、ＲＡＭ容量の増大とともにＢＡＳＩＣは強化されました。

強化ＢＡＳＩＣがその最適ステートメントを使いこなすために、その強力さが足枷(あしかせ)になるというのも止むを得ないでしょう。

私たちは、このようななかで、パーソナルコンピュータの学習、教育をいろいろな角度から観察・分析し「パーソナルコンピュータの使いこなし」の障害要因を考えてきました。

ＢＡＳＩＣは本来対話型で使い易いものですが、実際は使いこなしておられる方はごく一部の方々です。

そこで、Ｘ１turboの漢字ＢＡＳＩＣを初めとする日本語処理機能を十二分に生かした辞書形式のレキシコンを開発しました。

レキシコンを使用することによりＢＡＳＩＣが身近になり、Ｘ１turboを能率的に使いこなせることと思います。

2　レキシコンの特長

①日本語を入力（カナ入力、ローマ字入力）することにより機能の高速検索、選択ができます。
②ＢＡＳＩＣの命令の機能、書式、サンプルプログラムを高速に検索し、画面表示をします。
③多くのサンプルプログラムが登録されていますので、これらを高速に検索し、すぐに実行できます。
④ＢＡＳＩＣの命令を頭文字（Ａ，Ｂ，Ｃ……Ｚ）で入力するだけで画面に表示します。
⑤Ｘ１，Ｘ１turboシリーズの周辺機器、ソフトハウス、出版物などの情報の検索ができます。
⑥数学・関数などの計算式の高速検索ができます。
⑦レキシコンは、木(ツリー)構造をしています。

見出し語の目次も用意されており、見出し語も実用的なものを備えています。パーソナルコンピュータ辞書作成の技法をいろいろ工夫して編集しています。

3　レキシコンの用途・効用

レキシコンを使用することにより、次のことが可能になります。

①ＢＡＳＩＣでプログラミングをするとき、レキシコンを使用することによりプログラム作成を中断せずに、ＢＡＳＩＣの命令の高速検索、選択、プログラムへの実行形式での入力、パラメータの変更などが連続作業で行なえます。

②デバッグ中にエラーのチェックもレキシコンで行なえますので、初心者でもエラーチェックが高速に能率的に行なえます。

③ＢＡＳＩＣをはじめてお使いになる方でも、ＢＡＳＩＣの学習用にサンプルプログラムを用いて、即時に実行、変更が行なえます。

④ＢＡＳＩＣをすでに修得された方でも、強力なＳＨＡＲＰ Hu-ＢＡＳＩＣを能率的に活用できます。

⑤ＢＡＳＩＣ命令の書式のこまごましたことを記憶することなくプログラミングしていただけます。

4 使い方

4.1 レキシコンの設定

(1)ディスクＢＡＳＩＣ(ＣＺ-８ＦＢ０２ Ｖ１.０)を起動します。

①専用ディスプレイテレビの主電源を「入」にします。

電源が入ると約１０秒で画面に映像がチャンネル番号とともに出ます。

(専用ディスプレイテレビの取扱いについては専用ディスプレイテレビの取扱説明書を参照してください。)

②本機に電源を入れる前にディスクＢＡＳＩＣをディスクドライブ０に入れます。ラベルの貼ってある面を上にして差し込み、奥に押し込みます。

③本機の背面にあるメイン電源スイッチと前面の電源スイッチを「入」にします。

④画面が次の順序で変わります。

```
IPL is set for device.

          ↓

IPL is looking for a program from FD0

          ↓

IPL is loading BASIC CZ8FB02

          ↓
SHARP HuBASIC  CZ-8FB02 Version1.0
Copyright (C) 1984 by  SHARP/Hudson
 Printer : CZ-800P

NEWON■
```

ＮＥＷＯＮ■とカーソル入力待ちになりますので、そのまま ⏎ キー(リターンキー)を押してください。

カーソルが点滅し、プログラム入力が可能になります。

(ＮＥＷＯＮ命令は、プログラムで使用しない命令を削除してフリーエリアを確保しようとする場合に使われます。詳しくは、『ＢＡＳＩＣリファレンスマニュアル』の２.１.２　ＮＥＷＯＮをお読みください。)

(2)フロッピーディスクドライブ０からディスクＢＡＳＩＣをとり出し、レキシコンと入替えます。

(3)次に日本語入力モードに入ります。このモードに入るには、

SHIFT キーを押しながら XFER キーを押すか、または
CTRL キーを押しながら XFER キーを押します。

すると、画面の最下行に変換フィールドエリアがあらわれます。

(4)ここで SHIFT キーを押しながら、ファンクションキー F５ を押してください。音訓（音訓変換方式）から ＵＳＲ辞書（ユーザー辞書変換方式）にかわります。さらに F３ キーを押してください。〔平仮名〕から〔片仮名〕にかわります。

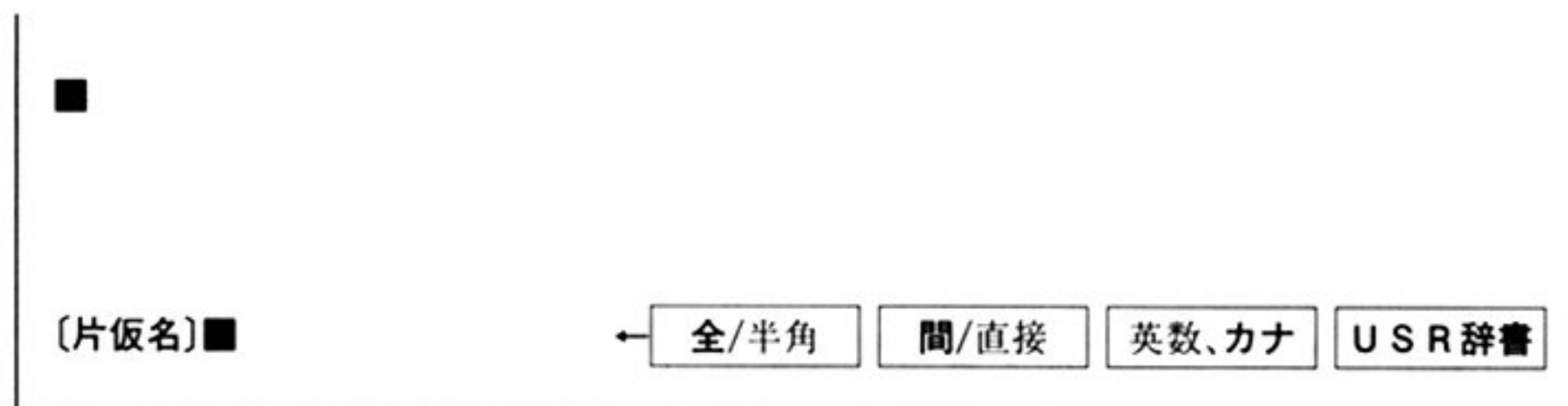
これでレキシコンの使用準備がＯＫになりました。

なお、変換フィールドエリアについては章末の 参考 をご覧になってください。

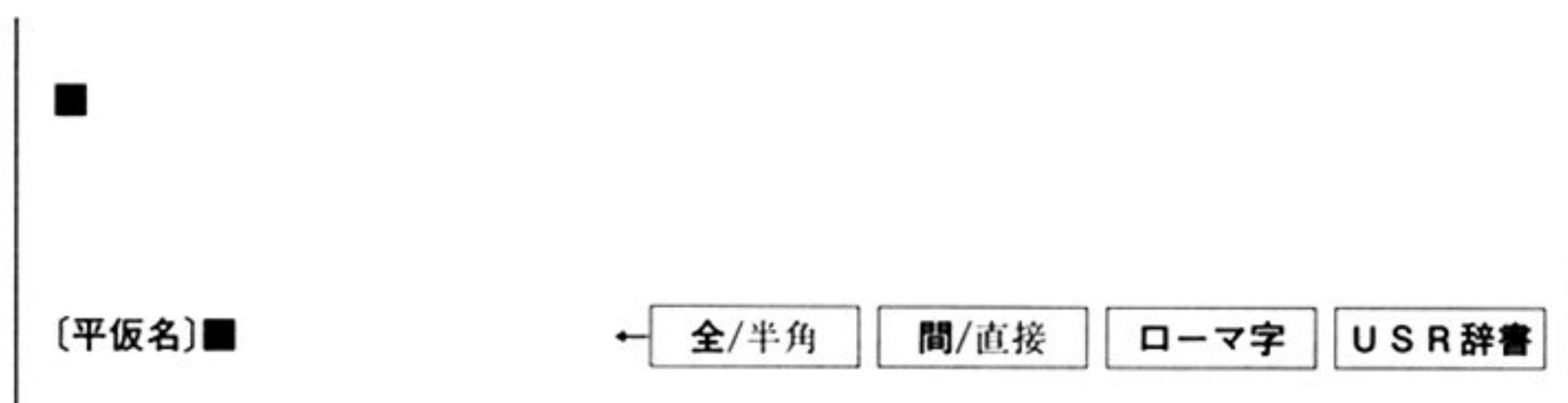
4.2 使用する前に

(1)カタカナの入力

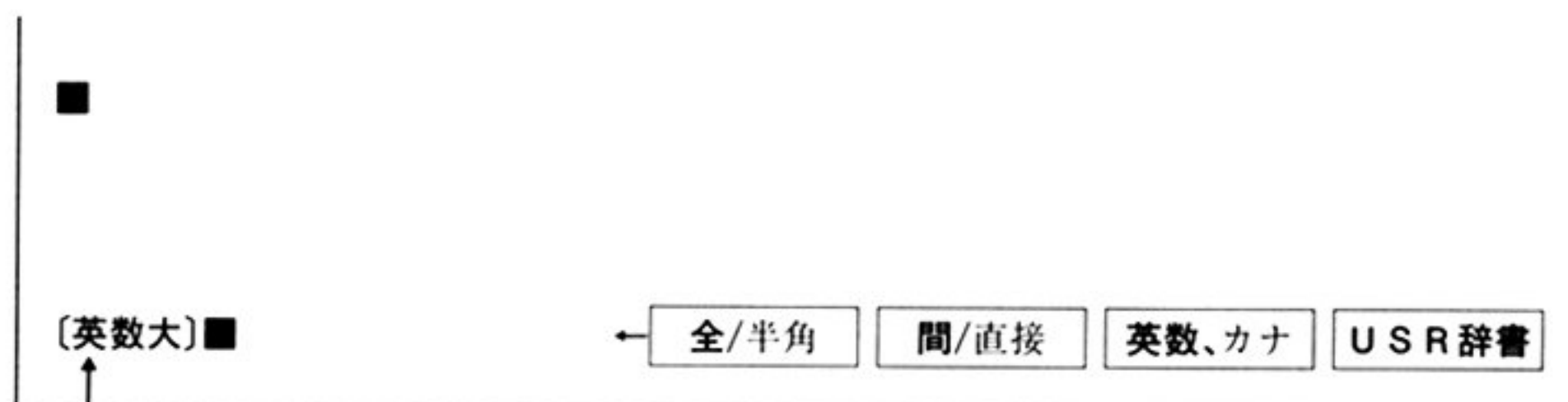
４．１．(4)の状態ではローマ字入力になっています。
ローマ字を入力すれば、変換フィールド内にカタカナが表示されます。
（例） M O K U J I とキー入力すれば
次のようになります。

キーボードのカナで入力するときは カナ キーをロック状態にします。すると画面は次のようになります。

(例) [M モ] [H ク] [D シ] [@ ゛] とキー入力すれば変換フィールド内にカタカナが入力できます。

(2)ひらがなの入力

4．1 (4)の状態で F3 キーを押すと、変換フィールド左側は〔平仮名〕に変わりローマ字入力によりひらがなを表示できます。

カナ キーをロック状態にすれば、キーボードのカナで入力できます。
なお、カタカナを表示するときは再び F3 キーを押します。

(3)英数字の入力

4．1．(4)の状態で F4 キーを押すと次のようになり、英文字、数字が表示できます。

(4) INS DEL キー、CLR HOME キー

変換フィールド内で文字を入力しているとき、間違って入力した場合は、
INS DEL キー（1文字ずつ）、または CLR HOME キー（すべての文字）
を押して入力し直してください。カーソルコントロールキー ⇦ を使用しても無効です。

ローマ字-カナ変換一覧表

あ	い	う	え	お				
A	I	U	E	O				
か	き	く	け	こ	きゃ	きゅ		きょ
KA	KI	KU	KE	KO	KYA	KYU		KYO
さ	し	す	せ	そ	しゃ	しゅ	しぇ	しょ
SA	SI	SU	SE	SO	SYA	SYU		SYO
	SHI				SHA	SHU	SHE	SHO
た	ち	つ	て	と	ちゃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
TA	TI	TU	TE	TO	TYA	TYU		TYO
	CHI	TSU			CHA	CHU	CHE	CHO
な	に	ぬ	ね	の	にゃ	にゅ		にょ
NA	NI	NU	NE	NO	NYA	NYU		NYO
は	ひ	ふ	へ	ほ	ひゃ	ひゅ		ひょ
HA	HI	HU	HE	HO	HYA	HYU		HYO
		FU						
ま	み	む	め	も	みゃ	みゅ		みょ
MA	MI	MU	ME	MO	MYA	MYU		MYO
や		ゆ		よ				
YA		YU		YO				
ら	り	る	れ	ろ	りゃ	りゅ		りょ
RA	RI	RU	RE	RO	RYA	RYU		RYO
わ		を		ん				
WA		WO		X				
が	ぎ	ぐ	げ	ご	ぎゃ	ぎゅ		ぎょ
GA	GI	GU	GE	GO	GYA	GYU		GYO
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	じゃ	じゅ	じぇ	じょ
ZA	ZI	ZU	ZE	ZO	ZYA	ZYU		ZYO
	JI				JA	JU	JE	JO
だ	ぢ	づ	で	ど	ぢゃ	ぢゅ		ぢょ
DA	DI	DU	DE	DO	DYA	DYU		DYO
ば	び	ぶ	べ	ぼ	びゃ	びゅ		びょ
BA	BI	BU	BE	BO	BYA	BYU		BYO

ぱ　ぴ　ぷ　ぺ　ぽ　　ぴゃ　ぴゅ　　ぴょ
PA　PI　PU　PE　PO　　PYA　PYU　　PYO

ふぁ　ふぃ　　ふぇ　ふぉ
FA　FI　　FE　FO

① 小文字は、[SHIFT] キーを押しながらアルファベットを入力することによって変換できます。

小文字の「っ」は、上記入力の他に、同じアルファベットを2度連続して入力することによって表示させることもできます。

〔例〕ローマ字入力「[I]、[R]、[A]、[S]、[S]、[H]、[A]、[I]」→カナ変換出力「いらっしゃい」

② 「ん」は、次の様にも入力できます。

「ん」……………… [SHIFT] +[N] または「[N]、[SHIFT] + [ｧ゛ｬ]」

③ 「きゃ」、「ちぇ」、「ぴゃ」などの文字は、大文字、小文字を別々に入力することもできます。

〔例〕「きゃ」………「[K]、[Y]、[A]」または「[K]、[I]、[SHIFT] +[Y] [A]」

大文字「き」入力　　小文字「ゃ」入力

〔注〕上記の説明の中で、入力キーをカンマ（,）で区切った場合は、それらのキーを連続して入力することを示します。逆にプラス（+）で接続した場合は、それらのキーを同時に入力することを示します。

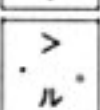
例「[N]、[SHIFT] + [ｧ゛ｬ]」………[N]キーを入力した後連続して、[SHIFT] キーを押しながら [ｧ゛ｬ] キーを入力することを示します。

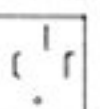
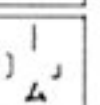
※特殊文字の入力

入力方式がローマ字-カナ変換方式（[F5]）または [カナ] キーロックによるカナ入力方式の場合、日本語文書作成の上で欠かすことのできない特殊文字を入力することができます。

① 濁点「゛」及び半濁点「゜」の入力には、次のキーを押します。

「゛」……………… [@ ゛]

「゜」……………… [[｢ ゜]

また間接出力モード（[F2]）の場合、変換フィールド内でひらがなやカタカナの直後に濁点又は半濁点を入力すると、自動的に濁点、半濁点のついた1文字のカナに変換されます。

〔例〕「し」の後に「゛」を入力すると、自動的に「じ」に変換されます。

逆に直接出力モード（ F 2 ）を選択した場合、カナと濁点は各1文字分のスペースをとりますので、2文字として扱われます。

② 読点「、」及び句点「。」の入力には、次のキーを押します。

「、」……………… SHIFT ＋ ＜ , ネ

「。」……………… SHIFT ＋ ＞ . ル

③ 始めかぎ括弧「「」及び終わりかぎ括弧「」」の入力には、次のキーを押します。

「「」……………… SHIFT ＋ [「 ゜

「」」……………… SHIFT ＋] 」 ム

4.3 実際に使用してみよう

①次の画面で M O K U J I と入力してください。

②次に XFER キーを押してください。

さらに XFER キーを押していきます。

XFER キー を押す

■

〔片仮名〕モクジ　　　コマント゛の意味・用法[コマント゛]

XFER キー を押す

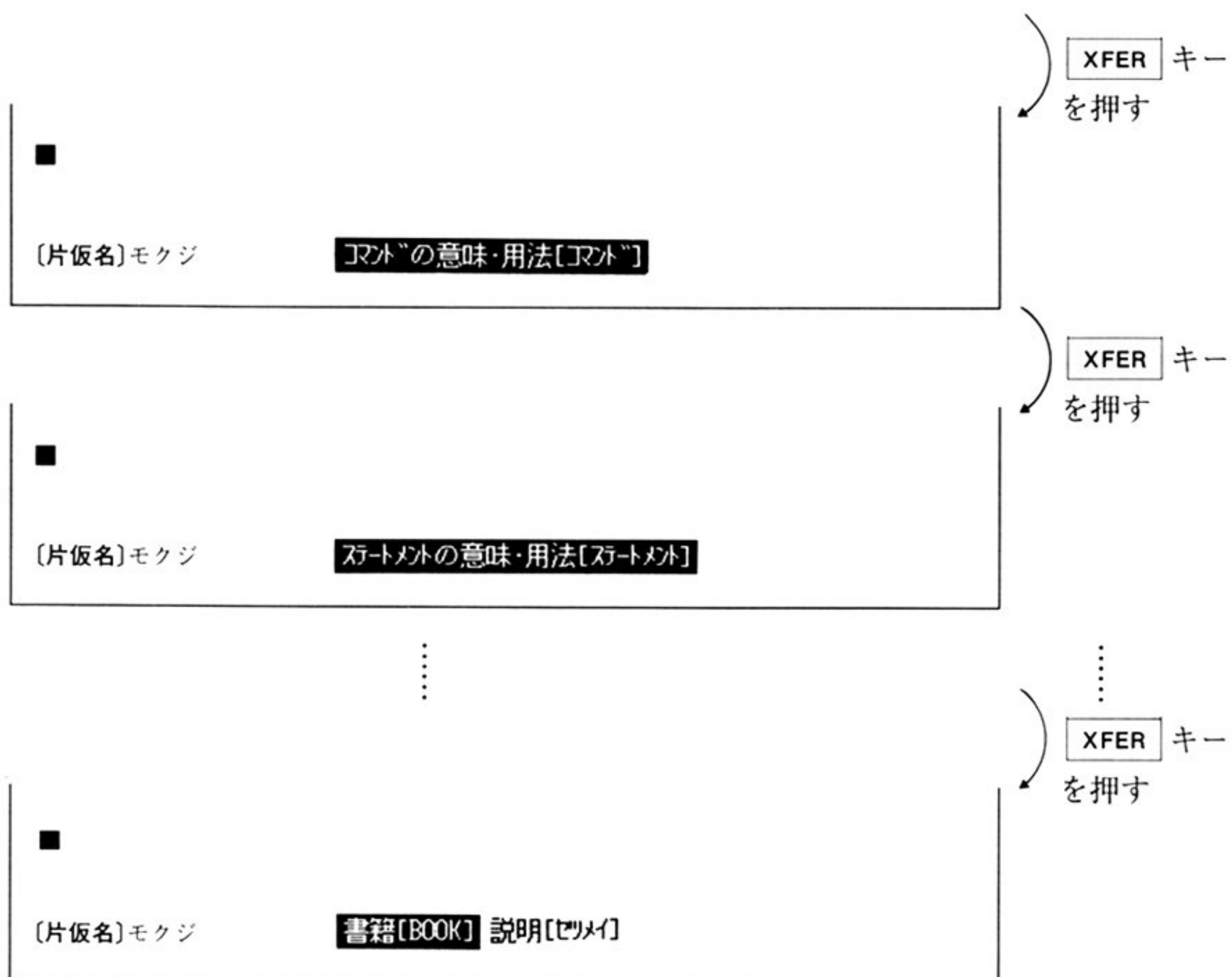
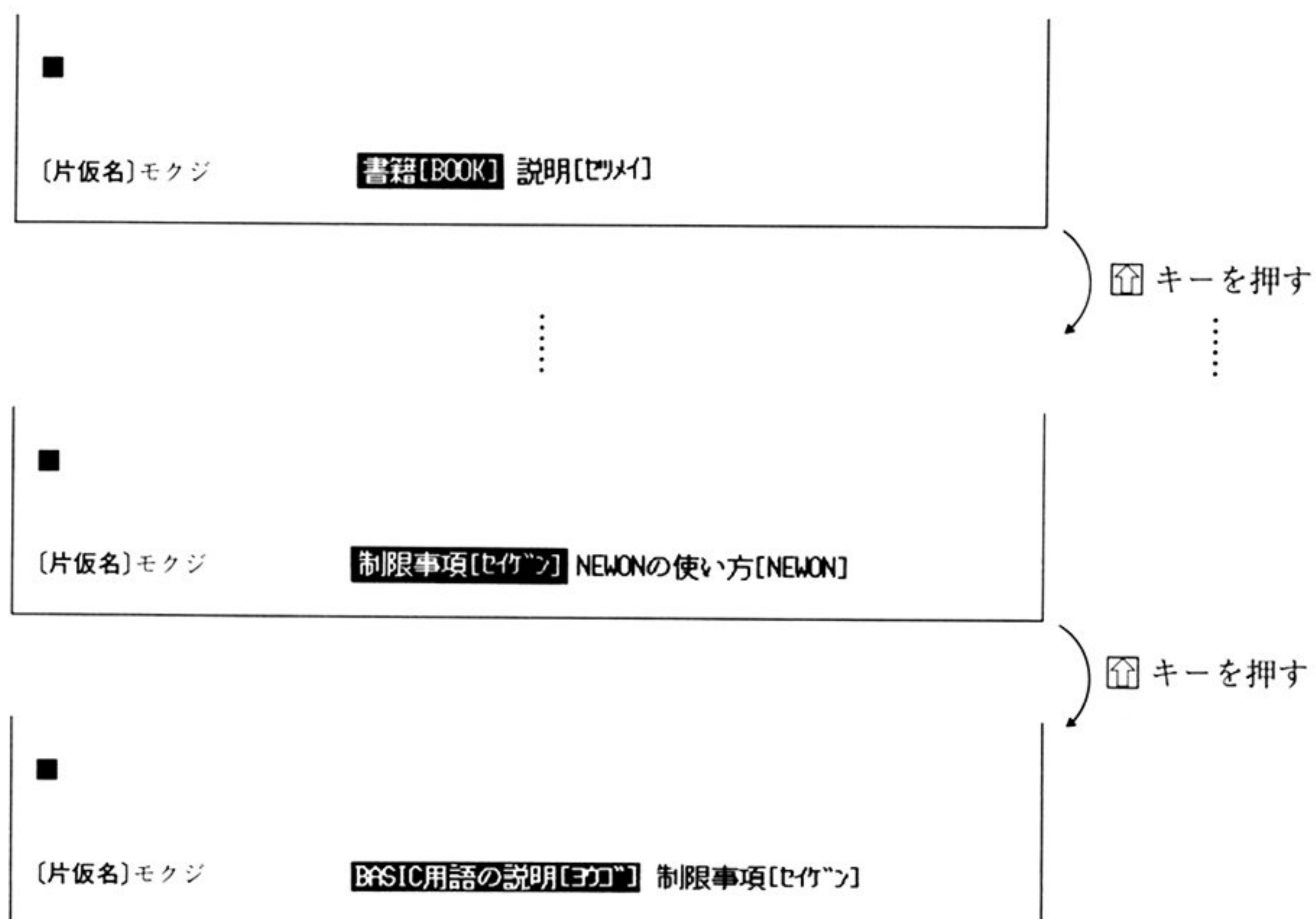
■

〔片仮名〕モクジ　　　ステートメントの意味・用法[ステートメント]

⋮

XFER キー を押す

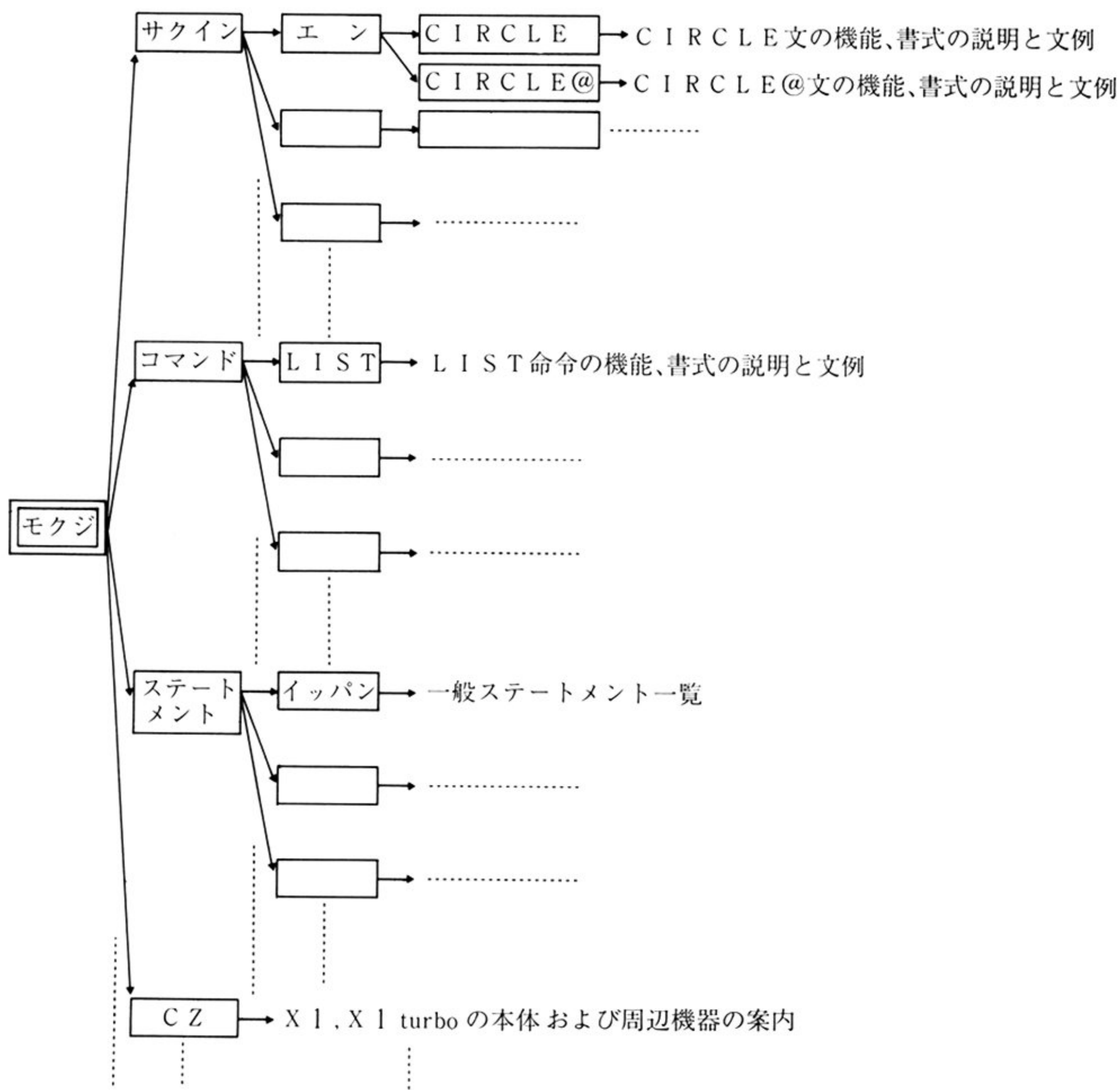
■

〔片仮名〕モクジ　　　書籍[BOOK] 説明[セツメイ]

ここで XFER キーを押しても次の内容は表示されません。
このように本機に関するいろいろなデータが入っていることがわかるでしょう。
また、逆の順番で内容を見たいときはカーソルコントロールキー ⇧ を押してください。

ここで GRAPH キーを押しながら XFER キーを押してください。画面にはモクジの内容がすべて表示されます。
モクジには次のような内容がはいっているのがわかりますね。

```
BASIC用語の説明[ﾖｳｺﾞ] 制限事項[ｾｲｹﾞﾝ] NEWONの使い方[NEWON]
日本語入力の索引[ｻｸｲﾝ] ｺﾏﾝﾄﾞの意味・用法[ｺﾏﾝﾄﾞ] ｽﾃｰﾄﾒﾝﾄの意味・用法[ｽﾃｰﾄﾒﾝﾄ]
ｺﾏﾝﾄﾞ・ｽﾃｰﾄﾒﾝﾄの索引[A～Z] ｴﾗｰ番号よりｴﾗｰの内容の日本語表示[ｴﾗｰ] 特殊文字[ﾄｸｼｭﾓｼﾞ]
各種関数[ｶﾝｽｳ] 予約語[ﾖﾔｸｺﾞ] 演算子[ｴﾝｻﾞﾝｼ] ｺﾝﾄﾛｰﾙｺｰﾄﾞ[CTRL] ｿﾌﾄﾊｳｽ索引[ｱ～ﾜ]
X1ｼﾘｰｽﾞ[CZ] 周辺機器ﾘｽﾄ[ｼｭｳﾍﾝ] 書籍[BOOK] 説明[ｾﾂﾒｲ]
```

	見出し語	内容
1.	ヨウゴ	……ＢＡＳＩＣ用語の説明
2.	セイゲン	……制限事項の説明
3.	ＮＥＷＯＮ	……ＮＥＷＯＮ(ＢＡＳＩＣコマンド)の使い方の説明
4.	サクイン	……日本語入力の索引
5.	コマンド	……コマンドの意味・用法
6.	ステートメント	……ステートメントの意味・用法
7.	Ａ，Ｂ，Ｃ～Ｚ	……コマンド，ステートメントの索引
8.	エラー	……エラー番号よりエラーの内容の日本語表示
9.	トクシュモジ	……特殊文字の説明
10.	カンスウ	……各種関数の説明
11.	ヨヤクゴ	……予約語の説明
12.	エンザンシ	……演算子の説明
13.	ＣＴＲＬ	……コントロールコードの説明
14.	ア，イ，ウ，～ワ，	……ソフトハウスの索引
15.	ＣＺ	……Ｘ１，Ｘ１ turbo の本体の案内
16.	シュウヘン	……周辺機器の案内
17.	ＢＯＯＫ	……Ｘ１，Ｘ１ turbo の書籍の案内
18.	セツメイ	……レキシコンの使い方の説明と注意

このように「モクジ」の内容を見れば、このレキシコンに収録されている全内容がわかりますので、知りたい内容のことば(見出し語)を探します。ことばが見つかったら、その内容を調べます。
つまり、レキシコンは次のように木(ツリー)構造になっています。

- モクジ
  - サクイン
    - エ　ン
      - CIRCLE → CIRCLE文の機能、書式の説明と文例
      - CIRCLE@ → CIRCLE@文の機能、書式の説明と文例
    - → ……
    - → ……
  - コマンド
    - LIST → LIST命令の機能、書式の説明と文例
    - → ……
    - → ……
  - ステートメント
    - イッパン → 一般ステートメント一覧
    - → ……
    - → ……
  - CZ → X1, X1 turboの本体および周辺機器の案内

また、各見出し語の中には内容の最後に「参照……」とあります。この参照に続くことばまたは命令を見出し語として入力すれば関連事項が表示されます。

では、それぞれについて説明します。

その前に、変換フィールドエリアをきれいにして入力できる状態にします。

ESC キーを押して CLR HOME キーを押せば次の画面になり、
日本語が入力できる状態になります。

(1)基本的な使い方

基本的な使い方を「サクイン」を例にして説明します。

① S A K U I X とキー入力してください。

② XFER キーを押すと

さらに XFER キーを押していくと、次々に索引(サクイン)の内容が表示されます。

逆の順序で内容を見たいときは、カーソルコントロールキー ⇧ を押します。

さて、これで索引(サクイン)の内容がわかりましたね。
目的に応じて索引を引けば、知りたい内容が見られます。

サクインの内容は次のようになっています。(GRAPH キーを押しながら XFER キーを押してください。)

1. グラフ ……グラフの書き方
2. ハコ ……長方形の描き方の説明
3. ケス ……コマンド、ステートメントで「消す」ことに関連するものの索引
4. ケイサン ……計算式の記号の説明
5. カンスウ ……関数の説明
6. ハンテン ……反転の説明
7. テンメツ ……点滅の説明
8. バイモジ ……倍文字の説明
9. アンダーライン ……アンダーラインの説明
10. マウス ……マウスの説明
11. ハイレツ ……配列の説明
12. マシンゴ・モニタ……機械語の説明(それぞれ〔マシンゴ〕、〔モニタ〕でひいてください。)
13. エラー ……エラーについての説明
14. ヘンシュウ ……基本的な画面編集機能の説明
15. グラフィック ……グラフィック処理命令の索引
16. エン ……円の描き方の説明
17. セン ……線の描き方の説明
18. テン ……点の描き方の説明
19. オレセン ……折れ線の描き方の説明
20. タカク ……多角形の描き方の説明
21. ホシ ……星の描き方の説明
22. ヌル ……色の塗り方の説明
23. イロ ……カラーコードと中間色の説明
24. インサツ ……プリンタに出力するときに使用するキーの説明
25. プリント ……プリントの説明
26. カク ……書く・描くの命令の索引
27. ファイル ……ファイルの説明
28. ワープロ ……ワープロソフトの紹介と日本語処理関連の命令の索引
29. アニメ ……PCGの説明
30. ミュージック ……ミュージックに関する命令の説明
31. サウンド ……サウンドに関する命令の説明
32. ツウシン ……通信についての説明
33. RS232C ……通信回線制御ステートメントの説明
34. テレビ ……テレビコントロールに関する命令の説明
35. カセット ……カセットに関する命令の説明
36. タイマー ……タイマーに関する命令の説明
37. テロッパー ……テロッパーの説明

サクインの内容について説明します。

(例) エン

サクインの中の「エン」の内容を見ます。

ESC キーを押し、 CLR HOME キーを押して変換フィールドエリアをきれいにします。

① E X と入力します。

```
■

〔片仮名〕エン■          ← 全/半角  間/直接  ローマ字  USR辞書
```

② XFER キーを押してください。

```
■

〔片仮名〕エン          円 CIRCLE CIRCLE@
```

XFER キーを押す

```
■

〔片仮名〕エン          CIRCLE :円を描きます (座標固定)
```

XFER キーを押す

```
■

〔片仮名〕エン          CIRCLE@ :円を描きます (座標定義) ｻﾝﾌﾟﾙ
```

⋮

XFER キーを押す

```
■

〔片仮名〕エン          INIT : CLS4 : WIDTH80, 25 :
```

XFER キーを押す

```
■

〔片仮名〕エン          CIRCLE (100, 100) , 50, 4, 1, 0, 360
```

XFER キーを押す

```
■

〔片仮名〕エン          参照 ｴﾝ1
```

サンプルプログラムを実行させるには次のようにします。

この画面で⏎キーを押すと、次の画面にかわります。

再度 E X と入力し、 XFER キーを押しながら、次の画面にします。

ここで⏎キーを押します。

さらに⏎キーを押せば、画面に

中心座標（１００，１００）、半径５０、緑色の円が描けます。

以上のようにすれば、見出し語内の２行以上にわたるサンプルプログラムが実行できます。

③ 参照の「エン１」を見るために E X 1 キーを押し、
さらに XFER キーを押します。

次々に内容を見るには、 XFER キーをその都度押します。
エン１には次のような内容がはいっていることがわかりますね。

円・楕円・円弧がCIRCLE命令で描けます CIRCLE@ (中心座標) , 半径, 色, 偏平率, 開始角, 終了角 ｻﾝﾌﾟﾙ INIT:CLS4:WIDTH80, 25: CIRCLE@ (100, 100) , 100, 4, 3/4, 0, 360 色以降を省略すると 偏平率1・開始角0・終了角360となり 真円を描きます

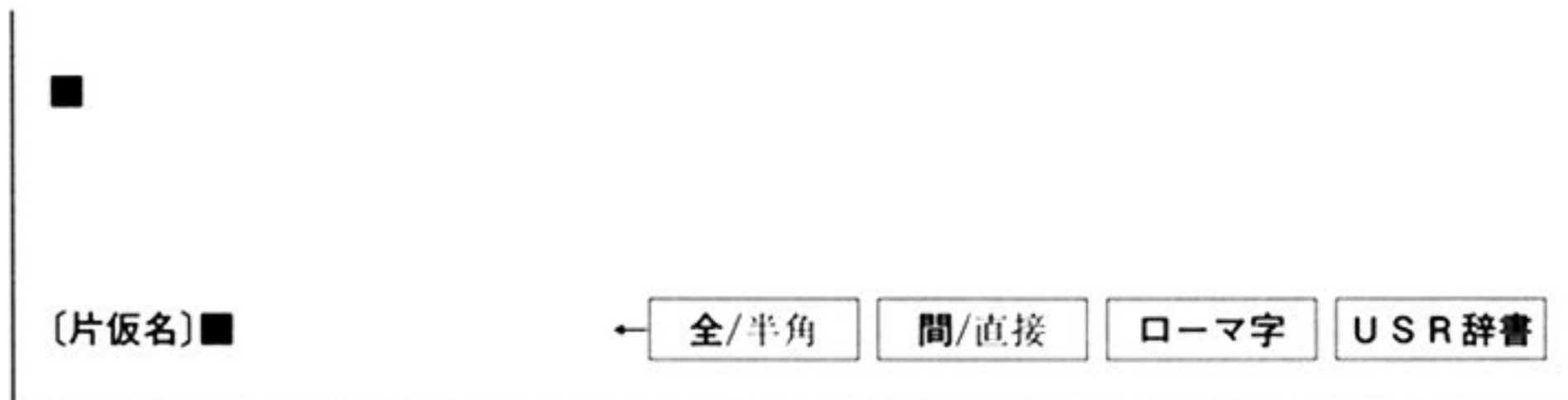
④ エン(円)は、ＣＩＲＣＬＥ命令で描けることがわかりましたね。ＣＩＲＣＬＥ命令の詳しい説明、文法(書式)またはサンプルプログラムを知りたいときは次のようにします。

⑤

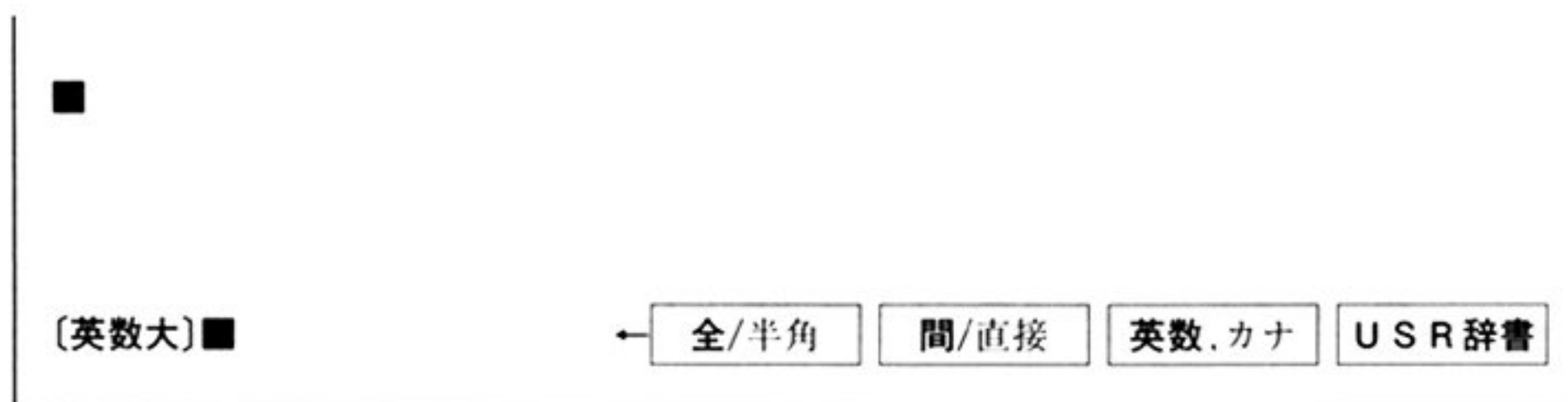
現在の画面で

ESC キーを押し、CLR HOME キーを押します。

```
■

〔片仮名〕■        ←| 全/半角 | 間/直接 | ローマ字 | USR辞書 |
```

⑥ F4 キーを押して英数字入力方式にします。

```
■

〔英数大〕■        ←| 全/半角 | 間/直接 | 英数,カナ | USR辞書 |
```

⑦ C I R C L E とキー入力し、XFER キーを押します。

```
〔英数大〕CIRCLE        円·楕円·円弧を描きます
```

次々に内容を見るには XFER キーをその都度押します。

内容は次のとおりです。

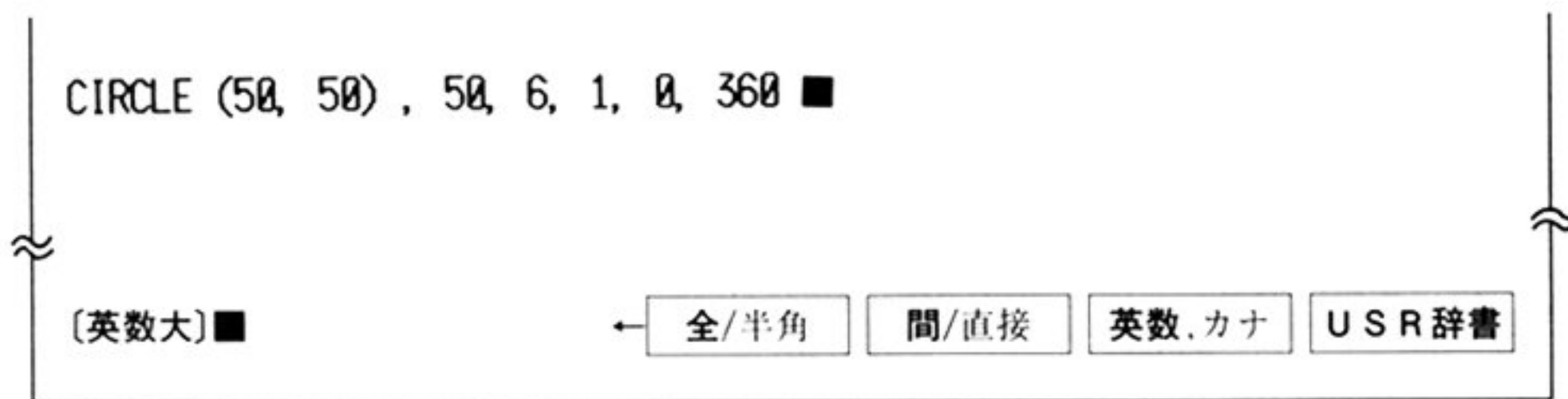
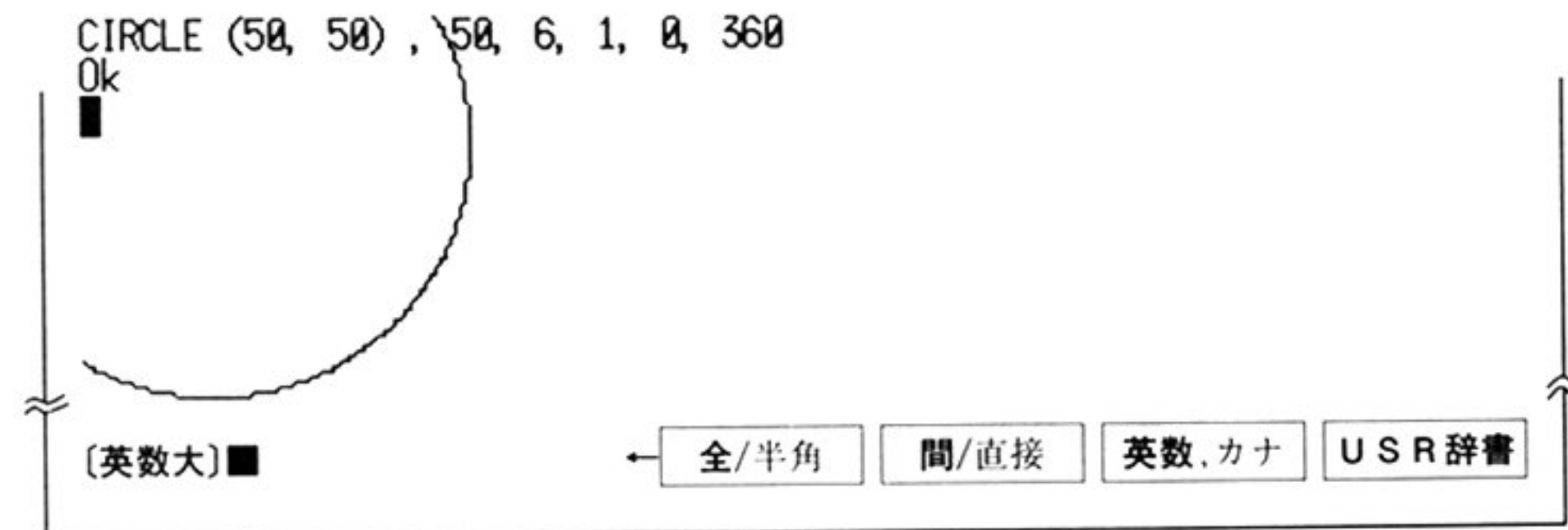
円·楕円·円弧を描きます CIRCLE (円の中心点), 半径, 弧の色, 偏平率, 初期角,
終了角 例 CIRCLE (X, Y), R, C, D, T1, T2 ｻﾝﾌﾟﾙ INIT: CIRCLE (50, 50), 50, 6,
1, 0, 360 注意 偏平率の値を1以外に設定すると 楕円になります 参照 WINDOW CIRCLE@

これで、CIRCLE命令の内容がほぼわかりましたね。

⑧ ここでさらに、サンプルプログラムをテキストエリアに移して実行させてみます。

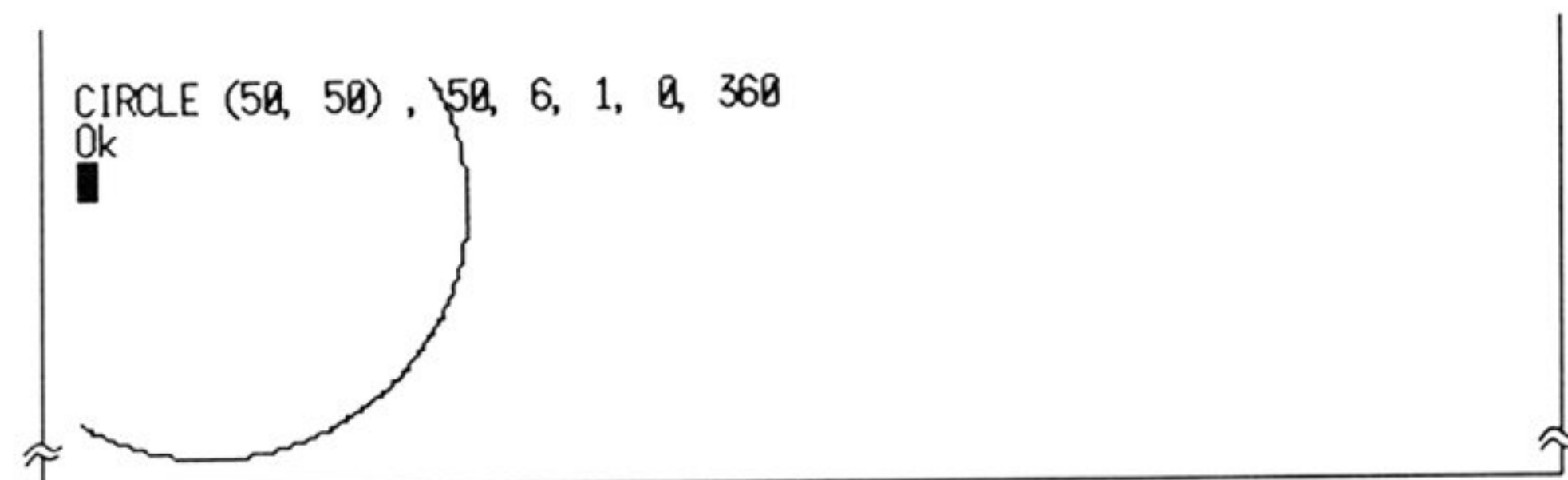
```
■

〔英数大〕CIRCLE        CIRCLE (50, 50), 50, 6, 1, 0, 360 注意
```

⑨ ⏎キーまたはテンキーの[1]キーを押してテキストエリアにサンプルプログラムを移します。

⑩ ⏎キーを押せば画面に
中心座標(５０，５０)、半径５０、黄色の円が描けます。

もし円を描かなければ CTRL キーを押しながら [D] キーを押してください。

⑪ 別の円を描くには次のようにします。

SHIFT キーを押しながら XFER キー （SHIFT ＋ XFER）または
CTRL キーを押しながら XFER キー （CTRL ＋ XFER）

を押して、日本語入力モードからぬけ出します。

⑫ 別の円たとえば中心座標(１５０，５０)、半径２０、弧の色赤(カラーコード２)を描いてみます。

●中心座標(５０，５０) → (１５０，５０) の変更
カーソルコントロールキーで(５０，５０)の初めの「５」のところにカーソルを動かし SHIFT キーを押しながら INS DEL キーを押します。（SHIFT ＋ INS DEL キー）

ＣＩＲＣＬＥ(■５０,５０),５０,６,１,０,３６０

となりますので、[1] キーを押します。

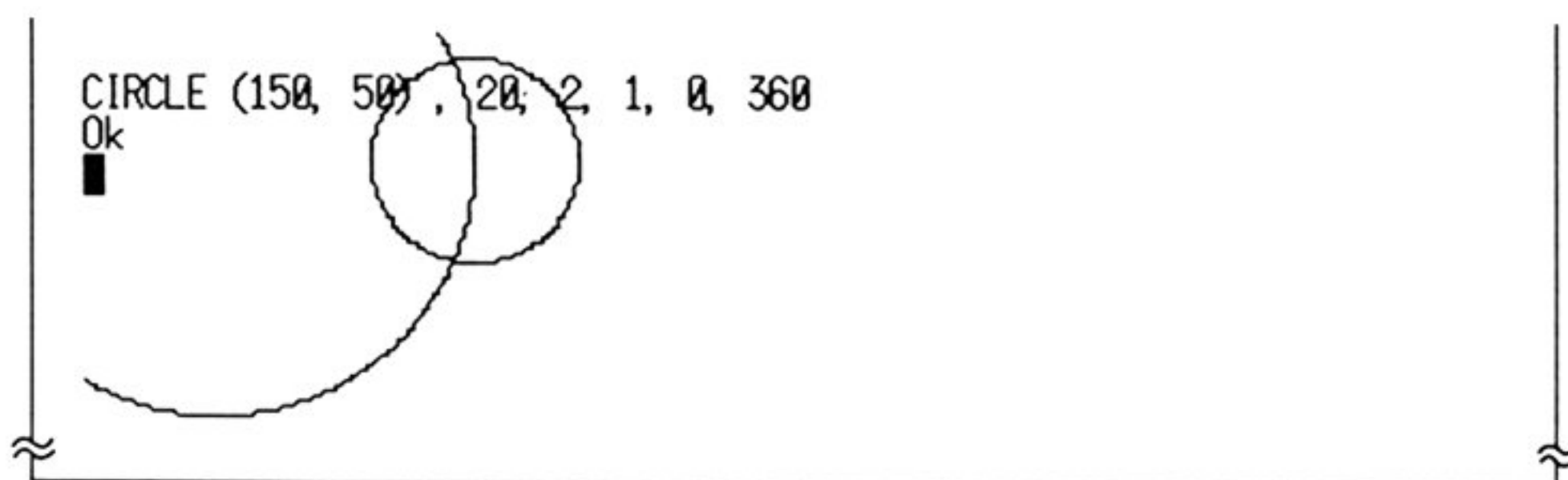
ＣＩＲＣＬＥ(１[5]０,５０),５０,６,１,０,３６０

●半径５０→２０の変更
カーソルコントロールキー ⇨ で「，５０,」の「５」のところにカーソルを動かし、[2] キーを押します。

ＣＩＲＣＬＥ(１５０,５０),２[0],６,１,０,３６０

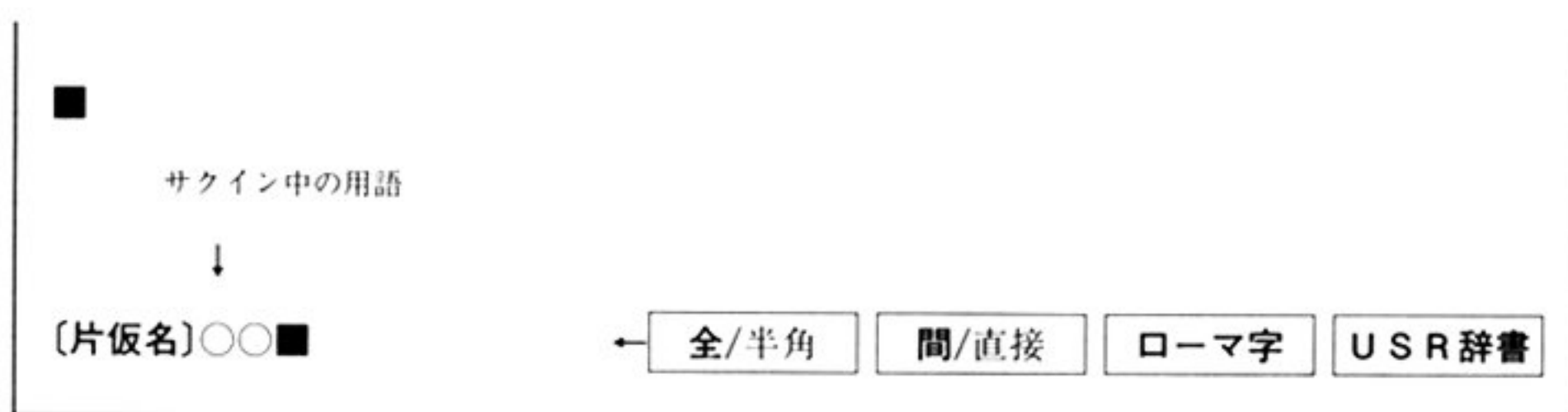
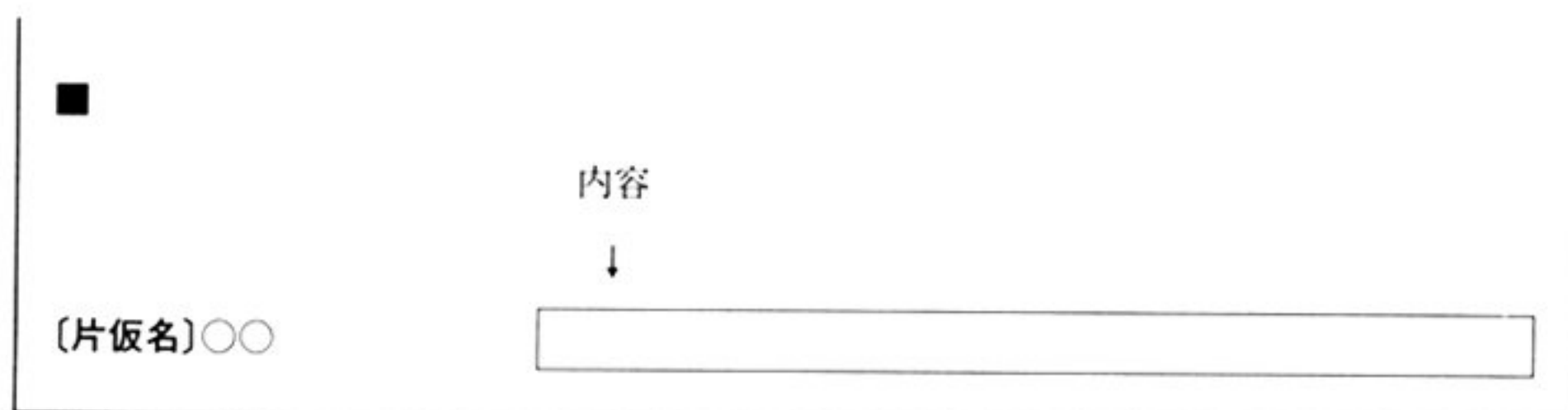
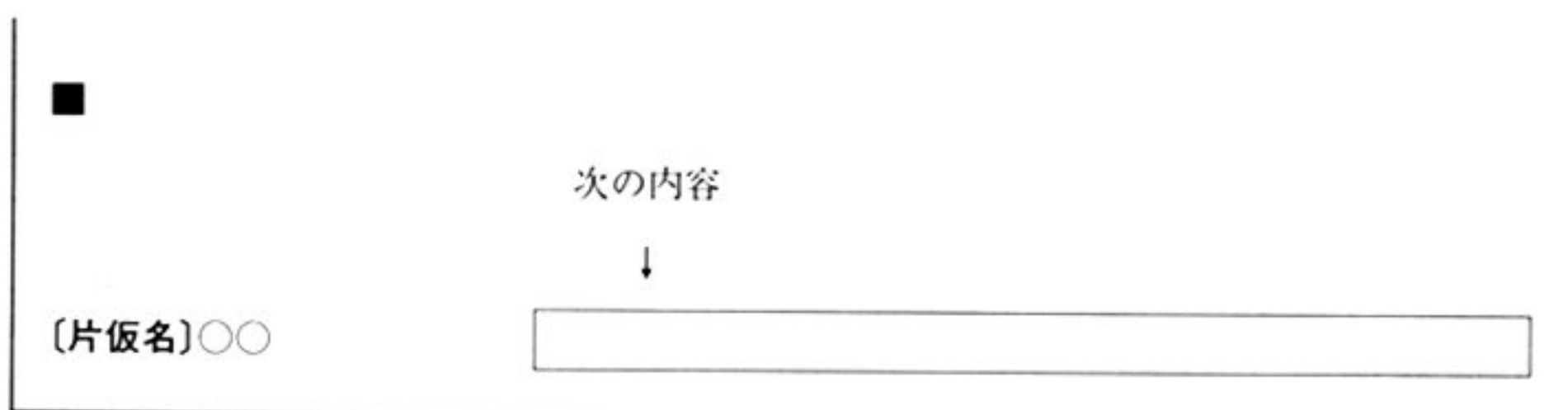
●弧の色 黄(カラーコード６)→赤(カラーコード２)の変更
さらにカーソルコントロールキー ⇨ で「，６,」のところにカーソルを動かし、[2] キー、を押します。

CIRCLE(150,50),20,2[,] 1,0,360

●ここで [⏎] キーを押せば次のようになります。

⑬ このように、数値をいろいろ変更すれば、いろいろな円が描けます。

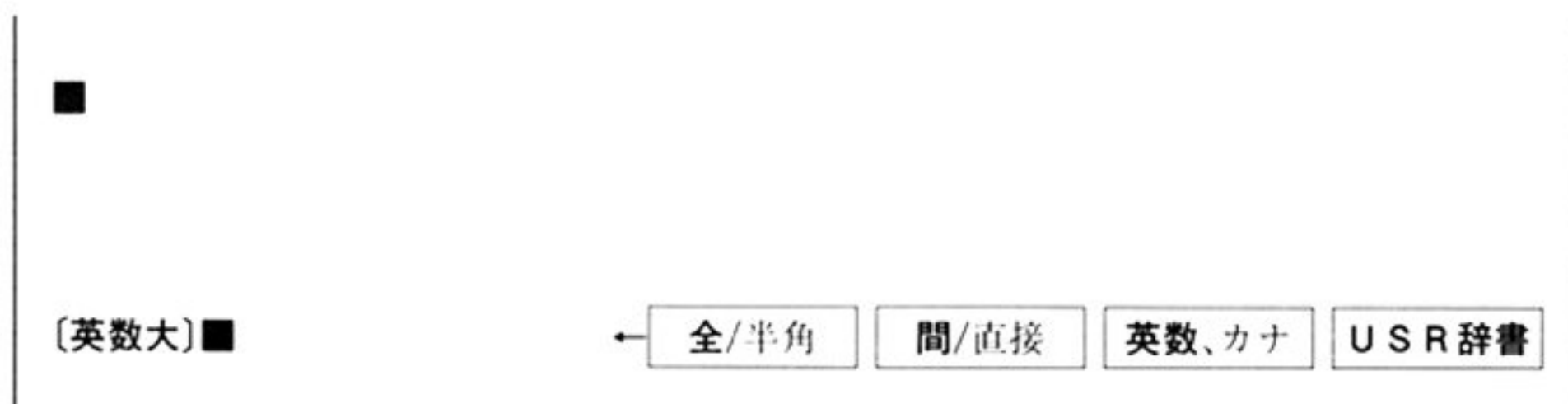
以上のようにサクイン(索引)を目的に応じて、日本語入力モードでカナ(カタカナまたはひらがな)を入力すれば、知りたい内容が見られます。そして、説明文中ででてきたＢＡＳＩＣの各命令を、日本語入力モードで英数字入力すれば、その命令の書式、サンプルプログラムが表示され、サンプルプログラムを利用することにより、テキストエリア内での実行が可能になります。

(手順)

① サクイン中の用語を日本語入力モード状態で入力する。

② [XFER] キーを押して内容を見る

内容が最終行になると [XFER] キーを押しても表示内容は変わりません。

現在の表示内容の前の内容を見たいときは、カーソルコントロールキー [⇧] を押します。

③ 続いて新しい見出し語を、変換フィールドエリアに入力したいときは ESC キーを押して INS DEL キー(1文字ずつ)または CLR HOME キー(すべての文字)を押して入力してください。

④ 説明文中でＢＡＳＩＣの命令が表示され、さらにこの命令の説明、書式、サンプルプログラムを見たいときは F4 キーを押して英数字入力方式にします。

命令をアルファベットで入力し XFER キーを押せば説明、書式、サンプルプログラムがみられます。

⑤見出し語の内容を画面にすべて表示させるには GRAPH キーを押しながら XFER キーを押してください。

(備考)

●変換フィールドエリアに表示されていることば(または命令、サンプルプログラムなど)を選択するときは、次のどちらかで行なってください。

①テンキー 1 ～ 9 を使って指定する。

表示されていることば(または命令、サンプルプログラムなど)の左端が 1 キー、次が 2 キー……と対応していますので、目的のことば(または命令、サンプルプログラムなど)に対応したテンキーを押します。

②カーソルコントロールキー ⇦、⇨ を使って指定する。

カーソルコントロールキーを使って目的のことば(または命令、サンプルプログラムなど)の上にカーソルを合わせ、リターンキー ⏎ を押します。

●困ったとき助けてくれる CTRL D シ キー

レキシコンを使っている時、コンピュータの音が鳴りっぱなしで止まらないときや、キーから入力された文字の内容が、キーの表示内容と合わなかったり、わけのわからないパターンが出てきたときなどは、次のような操作で正常にもどしてください。

CTRL キーを押しながら D シ キーを押し

そのあと

SHIFT キーを押しながら CLR HOME キーを押します。

●ＢＡＳＩＣのコマンド、ステートメントの例題は次の規則で構成されています。

各文字は特定の用法を定義しています。例題を理解するためには、例文に各々の変数や条件の値を定義してください。

すぐにプログラムを実行させるにはサンプルを使ってください。

整数：K, L,　全ての数：A, B,　漢字：K＄, L＄

全ての文字変数：A＄, B＄,　場所変数：X,　半径：R

偏平率：D,　角度(度)：T,　色：C

(なお、この内容は日本語入力モードのローマ字入力で R E I とキー入力し、XFER キーを押せば表示されます。)

●「！　″　＃　＄　％　＆　′　（　）　＊　＋　，　－　．　／」(アスキーコード＆Ｈ２１～２Ｆ)は変換フィールドエリアで、全角文字として表示されていても、コンピュータ内部では半角文字に変換されています。
しかし、この状態で SHIFT キーを押しながら F5 キー(SHIFT ＋ F5)を押してユーザー辞書変換方式に再設定すると全角文字に変換されます。上記の記号をテキストエリアでも全角文字で使用したいときに利用してください。

(例１) １５ページの⑪の画面では

```
CIRCLE (50, 50) , 50, 6, 1, 0, 360
Ok
█
```

が表示されています。「（」,「，」,「）」は全角文字として表示されていますが、たとえば次のようにして行番号１０をつけて ⏎ キーを押してください。

```
10 CIRCLE (50, 50) , 50, 6, 1, 0, 360
█
```

さらにＬＩＳＴ ⏎ と入力すれば次の画面になります。

```
10 CIRCLE (50, 50) , 50, 6, 1, 0, 360
LIST
10 CIRCLE(50,50),50,6,1,0,360
Ok
█
```

「（」,「，」,「）」が半角文字で表示されていることがわかります。

(例２) １５ページの⑨の画面で SHIFT キーを押しながら F5 キーを押してユーザー辞書変換方式に再設定してください。そして ⏎ キーを押してください。円が表示されず「 Syntax error 」が表示されます。

```
CIRCLE (50, 50) , 50, 6, 1, 0, 360
Syntax error
Ok
█
```

「（」,「，」,「）」は全角文字になっているので ⏎ キーを押しても実行されません。

(2)アルファベット入力(Ａ～Ｚ)

F4 キーを押して英数字入力方式にします。

たとえば D キーを押し、 XFER キーを押します。

〔英数大〕D　　　　参照 DATA DATE$.DAY$ DEF DEFCHR$

このようにアルファベットを入力すると、これを先頭文字とするＢＡＳＩＣの命令が表示されます。

(3)ソフトハウスの案内

ア～ワの一文字を入力すれば、それを先頭にもつソフトハウスの名前が表示されます。

(例)

①ローマ字入力で A とキー入力し XFER キーを押します。

■

〔片仮名〕ア　　　　IOﾃﾞｰﾀ機器（IOﾃﾞｰﾀ） ACT ｱｲﾃﾑ.ｱｽｷｰ

次々に XFER キーを押せば、アを先頭にもつソフトハウスの名前が表われます。

②たとえば、アスキーの住所、電話番号を知りたいときは次のようにします。

ローマ字入力で A、S、U、K、I、ー を入力し、

XFER キーを押してください。

■

〔片仮名〕アスキー　　　　（株）ｱｽｷｰ 107 東京都港区南青山 5-11-5

XFER キーを押す

■

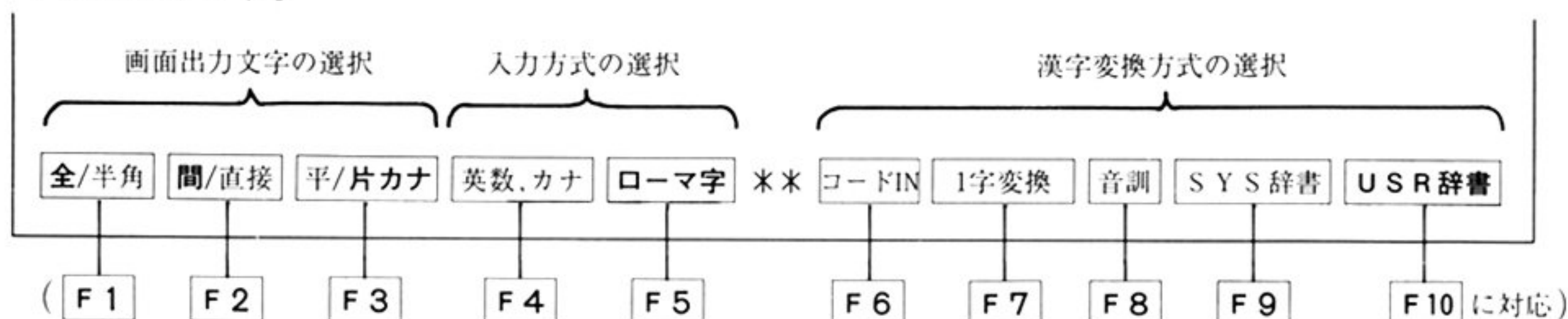
〔片仮名〕アスキー　　　　03-486-7111

(4)その他

その他の見出しについては、カタカナの見出し（ヨウゴ、セイゲンなど）の場合はローマ字入力またはカナキーをロックしてカナ入力で、英文字の見出し（ＮＥＷＯＮ，ＣＴＲＬ）の場合は英数字入力で検索します。

要領は(1)～(3)の通りです。

参考

日本語入力モードで［HELP］キーを押してください。最下行の変換フィールドエリアは次のように変わります。

１０個の白枠が出て、赤い字と黒い字で略語が表示されます。
赤い字が現在の設定されている状態です。
１０個の白枠は、各々キーボード上のファンクションキー［F1］～［F5］および［SHIFT］キーを押しながら［F1］～［F5］（［F6］～［F10］）を押したものに相当します。

各入力モードの選択

①画面出力文字の選択（［F1］、［F2］、［F3］について各々選択）

［F1］：全角/半角………全角文字か半角文字のどちらを表示させるかを選択します。

［F2］：直接/間接………直接、テキストエリアのカーソル位置に出力するか、またはいったん変換フィールド内に出力するかを選択します。

［F3］：平仮名/片仮名…ローマ字-カナ変換方式またはカナ入力方式で入力した時に、ひらがなを出力するか、カタカナを出力するかを選択します。

②入力方式の選択（［F4］、［F5］、［カナ］の中から１つ選択）

［F4］：英数字直接入力方式………キーボード上のアルファベット、数字、記号の通りに入力します。この入力方式を選択すると、自動的に画面出力文字も英数字、記号となります。

［F5］：ローマ字-カナ変換方式 …アルファベットを入力すると、自動的にローマ字とみなされ、ひらがなまたはカタカナに変換されます。

※［カナ］キーロックによるカナ入力方式
入力方式が［F4］の英数字又は［F5］のローマ字-カナ変換のモードにある時、［カナ］キーをロック（押し下げた状態）すれば、直接カナによる入力ができます。

③漢字変換方式の選択（［F6］、［F7］、［F8］、［F9］、［F10］の中から１つ選択）

［F6］：コード入力方式……全角文字のコードを直接入力します。コードには、ＪＩＳ漢字コード（"１６進"）と区点コード（"区点"と表示）とがあり、このキーを押す毎に切換わります。
（［SHIFT］＋［F1］）

［F7］：一字変換方式………漢字の読みを１文字だけ識別（他の文字は無視）して漢字に変換します。
（［SHIFT］＋［F2］）

［F8］：音訓変換方式………漢字の音読み、訓読みを入力して、漢字に変換します。
（［SHIFT］＋［F3］）

［F9］：システム辞書変換方式…ワードパワーやシステム辞書ディスク(オプション：ＣＺ-１１１ＳＦ)を使うときに使用します。
（［SHIFT］＋［F4］）

［F10］：ユーザー辞書変換方式…レキシコンやユーザー辞書ディスク(オプション：ＣＺ-１１１ＳＦ)を使うときに使用します。
（［SHIFT］＋［F5］）

1 概要

Ｘ１ turbo は強力な日本語処理機能を持っていますので、文章を書いたり、修正、訂正などができ、ワードプロセッシング(文書作成)が容易に行なえます。

この日本語百科ワードパワー"ＷＯＲＤ　ＰＯＷＥＲ"は、同義語、類語、四文字成句、手紙の慣用表現、故事ことわざなど約９万語を登録していますので、Ｘ１ turbo の日本語処理機能を利用して単に音訓変換にとどまらず、日本語による知的生産性を高め、手助けをする道具として利用していただけます。

2 ワードパワーの特長

①やさしい日本語を入力（カナ入力、ローマ字入力）することにより、多数の同義語、類語を高速に検索し、表示することができます。
②漢字のＪＩＳ第１水準はもちろん、ＪＩＳ第２水準もサポートしています。ＪＩＳ第２水準漢字は６つの検索法があり非常に便利です。（ＪＩＳ第２水準漢字ＲＯＭはオプションです）
③同音異義語の検索ができます。
④反意語の類語の検索ができます。
⑤四文字成句は３つの検索法があります。
⑥同義語、類語のほか、ことわざ、慣用句、忌み言葉、季語など随所に盛り込んでいます。
⑦付録として、楽しい日本語の側面が見られるようにしています。

登録されていることばは、約９万語です。

3 ワードパワーの用途・効用

ワードパワーを使用することにより次のことが可能です。

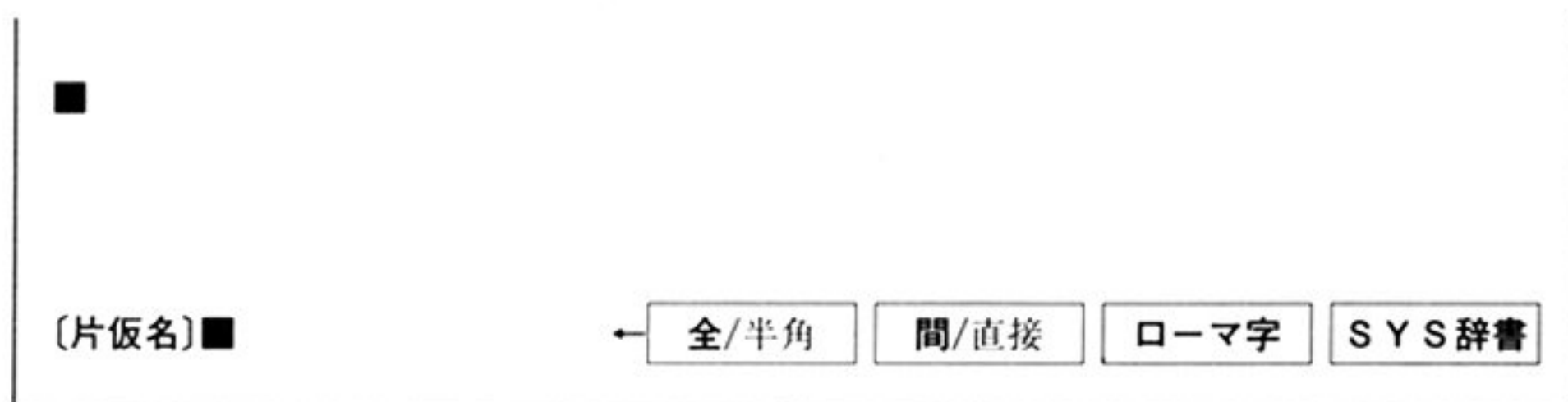
①熟語辞書としてワードプロセッシング(文書作成)に役に立ちます。人名、地名も登録されています。
②ひとつのことばに対して、同義語、類語、反意語などのいろいろな角度からのことばを登録していますので、日常使用することにより語いが豊かになります。
③文章づくりやスピーチのための辞書として"表現さがし"に便利です。
- できあがった手紙、論文、スピーチを最も適した表現に改めることができます。
- 相手に失礼にならないように、相手の立場にたった表現へのチェック(特に忌みことば)に利用できます。
- 説得力のある表現さがしや、幼稚な表現を修正したり単調な繰り返しをさけることができ、品位ある文章づくりができます。

④ことば遊びに利用できます。主として付録におさめています。
⑤チェックリストとして、アイデアの開発、イベントの企画、物語りの作成に有用です。
⑥和歌、俳句、川柳にも有用です。

4 使い方

4.1 ワードパワーの設定

①ディスクBASIC(CZ-8FB02 V1.0)を起動します。
(「ターボ博士レキシコン"LEXICON"4 使い方」を参照)
②フロッピーディスクドライブ0にWORD POWER(A)を
フロッピーディスクドライブ1にWORD POWER(B)を
さし込みます。
③次に日本語入力モードに入ります。このモードに入るには、
SHIFT キーを押しながら XFER キーを押すか、または
CTRL キーを押しながら XFER キーを押します。

④ワードパワーは SYS辞書 (システム辞書変換方式)モードで使用します。
SHIFT キーを押しながら F4 キーを押し、さらに F3 キーを押します。次の画面のようになり、ワードパワーが使用可能になります。

4.2 操作方法

操作方法は、レキシコンと同様です。
レキシコンが USR辞書 (ユーザー辞書変換方式)モードで使用するのに対し、ワードパワーが SYS辞書 (システム辞書変換方式)モードで使用するのが異なっています。
(この説明書ではカタカナ入力で説明します。)
ひらがな、カタカナ、英数字の入力のしかたは「ターボ博士レキシコン"LEXICON"の**4.2 使用する前に**」を参照してください。

見出し語

見出し語はできるだけ平易なことばを採用しています。数万語の見出し語と、その他付録や読みにくいことば、まちがいやすいことばなどさまざまな方法で登録しています。

①平易なことばの見出し語　例）カンジ、トチギ
②付録　例）フロク、フ1
③読みにくい漢字　例）ナンドク、ナン2
④まちがいやすい漢字　例）マチガイ、ア$
⑤数字　例）1、2
⑥部首　例）ダイ2
⑦手紙の書き方　例）テガミ、テ1
⑧発想法　例）アイデア、ア1

4．3 実際に使用してみよう

ワードパワーには、一般熟語、同音異義語、類語、同義語、関連語、四文字成句、ことわざ、慣用句および反対語が登録されており、このほか、単語変換のための音訓辞書およびＪＩＳ第２水準漢字の部首データ、付録、付録機能、ことば遊びの機能などいろいろ工夫して盛り込んであります。これらの使い方を具体的に説明します。
（ＪＩＳ第２水準漢字ＲＯＭはオプションです）

(1)基本的な使い方

基本的な使い方を「ヨロコブ」を例にして説明します。
①まず、ローマ字入力で Y O R O K O B U とキー入力してください。

XFER キーを押します。

■
〔片仮名〕ヨロコブ　悦 歓 喜.空喜 大喜 榛喜.嬉 喜悦 愉悦

満悦 恐悦 歓喜.歓心 嬉々 欣幸.欣然 欣喜　XFER キーを押す

狂喜 驚喜 随喜.法悦 浮かれる 欣喜雀躍　XFER キーを押す

✱ 愁然 ■.■ ■ ■.■ ■ ■

■はＪＩＳ第２水準漢字を表わします。オプションの第２水準漢字ＲＯＭが本機内に装着してある場合には次のように表示します。

■

〔片仮名〕ヨロコブ　　　忻 意 兌.豫

逆の順序で見たいときはカーソルコントロールキー ⇧ を押します。
また、 GRAPH キーを押しながら XFER キーを押すと、画面に「ヨロコブ」の内容がすべて画面に表示されます。

このように音訓、類語、同義語、四文字成句、ことわざ、慣用句が表示されます。
反対語には✱印がついています。

②表示された漢字グループの中から、漢字を選ぶときは次のどちらかで行なってください。
- 1 ～ 9 のテンキーを使って指定する。
  漢字グループの左端の漢字が 1、次が 2、……と対応していますので、目的の漢字に対応したテンキーを押します。
- カーソルコントロールキー ⇦ ⇨ を使って指定する。
  ⇦、⇨ を使って目的の漢字の上にカーソルを合わせてリターンキー ↵ を押します。

（例）

■

〔片仮名〕ヨロコブ　　　悦 歓 喜.空喜 大喜 糠喜.嬉 喜悦 愉悦

「大喜」を選択するときは、テンキーの 5 を押します。
押すと画面は次のようになります。

③内容だけを見て新しい見出し語を入力したいときは次のようにします。

ESC キーを押します。

INS DEL キーを押すと、押すごとに1文字ずつ消されます。4度押すとヨロコブの文字は消えます。
または CLR HOME キーを押すと、一度に消えます。

これで新たな見出し語を入力できます。

(2)関連語、反対語

見出し語に関連する内容やことばの後には→印がついています。

また、そのことばの反対語や反対語を含んだ見出しの前には＊印がついています。

①たとえば、ローマ字入力で [K] [A] [X] [K] [I] （カンキ、歓喜）とキー入力し、[XFER] キーを入力します。

```
■

〔片仮名〕カンキ                寒気 喚起 乾季.歓喜 →ヨロコブ
```

②→ヨロコブとありますから、[ESC] キーを押し、[INS DEL] キーを使ってカンキを消し、[Y] [O] [R] [O] [K] [O] [B] [U] とキー入力してください。

```
■

〔片仮名〕ヨロコブ■            ← [全/半角] [間/直接] [ローマ字] [SYS辞書]
```

③ [XFER] キーを押せば「歓喜」の関連語が表示されます。

```
■

〔片仮名〕ヨロコブ              悦 歓 喜.空喜 大喜 糠喜.嬉 喜悦 愉悦
```

[XFER] キーをその都度押せば、前述のようにヨロコブの関連語が表示されます。

(3)地名・人名

よく使われる地名・人名を登録しています。

難読地名は都道府県名を入力し [XFER] キーを押すと、その都道府県の難読地名が表示されます。

（例１）

ローマ字入力で [H] [O] [K] [K] [A] [I] [D] [O] [U] と入力し

つづいて [XFER] キーを押すと難読地名が表示されます。

■

〔片仮名〕ホッカイドウ　　北海道 愛冠岬ｱｲｶｯﾌﾟﾐｻｷ 赤平市ｱｶﾋﾞﾗｼ

XFER キーを押すごとに北海道内の難読地名が表示されます。

(例2)

ローマ字入力で N O R I K O と入力し、XFER キーを押します。

■

〔片仮名〕ノリコ　　典子 紀子 憲子.範子 乃里子

(4)読みにくい漢字

①ローマ字入力で N A X D O K U とキー入力してください。

■

〔片仮名〕ナンドク■　　← 全/半角 | 間/直接 | ローマ字 | SYS辞書

② XFER キーを押します。

■

〔片仮名〕ナンドク　　難読 難読言葉を集めました

XFER キーを押す

■

〔片仮名〕ナンドク　　(ﾅﾝ1) 難読植物名 (ﾅﾝ2) 難読動物名

すると、読みにくい漢字のグループのリストが出てきます。各グループの(　)内には文字がありますね。
たとえば、(ナン２)難読動物名の場合は ナン２ がそれにあたります。

③ N A X 2 と入力し、 XFER キーを押します。

(注：漢字グループの■には、本体内にＪＩＳ第２水準漢字ＲＯＭを装着した場合、ＪＩＳ第２水準漢字が表示されます。)

見出し語

ナン１　難読植物名
ナン２　難読動物名
ナン３　難読魚介名
ナン４　難読外国名(外国名の漢字表示)
ナン５　難読食物名
ナン６　難読色

(5)付録および付録機能

付録および付録機能にはさまざまな内容が含まれています。

見出し語

フ１　いろはかるた(江戸)
フ２　いろはかるた(京)
フ３　いろはかるた(上方)
フ４　日本の酒
フ５　花言葉
フ６　誕生石
フ７　星座
フ８　太陽系

フ９　　日本の祭り
フ１０　　各月の表現
各々の見出しを入力して変換すると、希望の言葉が探せます。
(例) F U 1 とキー入力し、XFER キーを押します。

(6)間違いやすい漢字

間違いやすい漢字には先頭の読みア～ワの後に＄をつけて入力します。

①ローマ字入力で M A C H I G A I とキー入力し XFER キーを押してください。

■

〔片仮名〕マチガイ　　　間違い 間違いやすい漢字を

XFER キーを押す

■

〔片仮名〕マチガイ　　　集めてみました ア－ワ

XFER キーを押す

■

〔片仮名〕マチガイ　　　の後に＄マークを付けて 引いて下さい

XFER キーを押す

■

〔片仮名〕マチガイ　　　例：ｱ$ ｲ$ 難読漢字 →ﾅﾝﾄﾞｸ

(例) たとえば「生憎（アイニク）」を探すときは

A SHIFT ＋ 4$う とキー入力します。

XFER キーを押します。

■

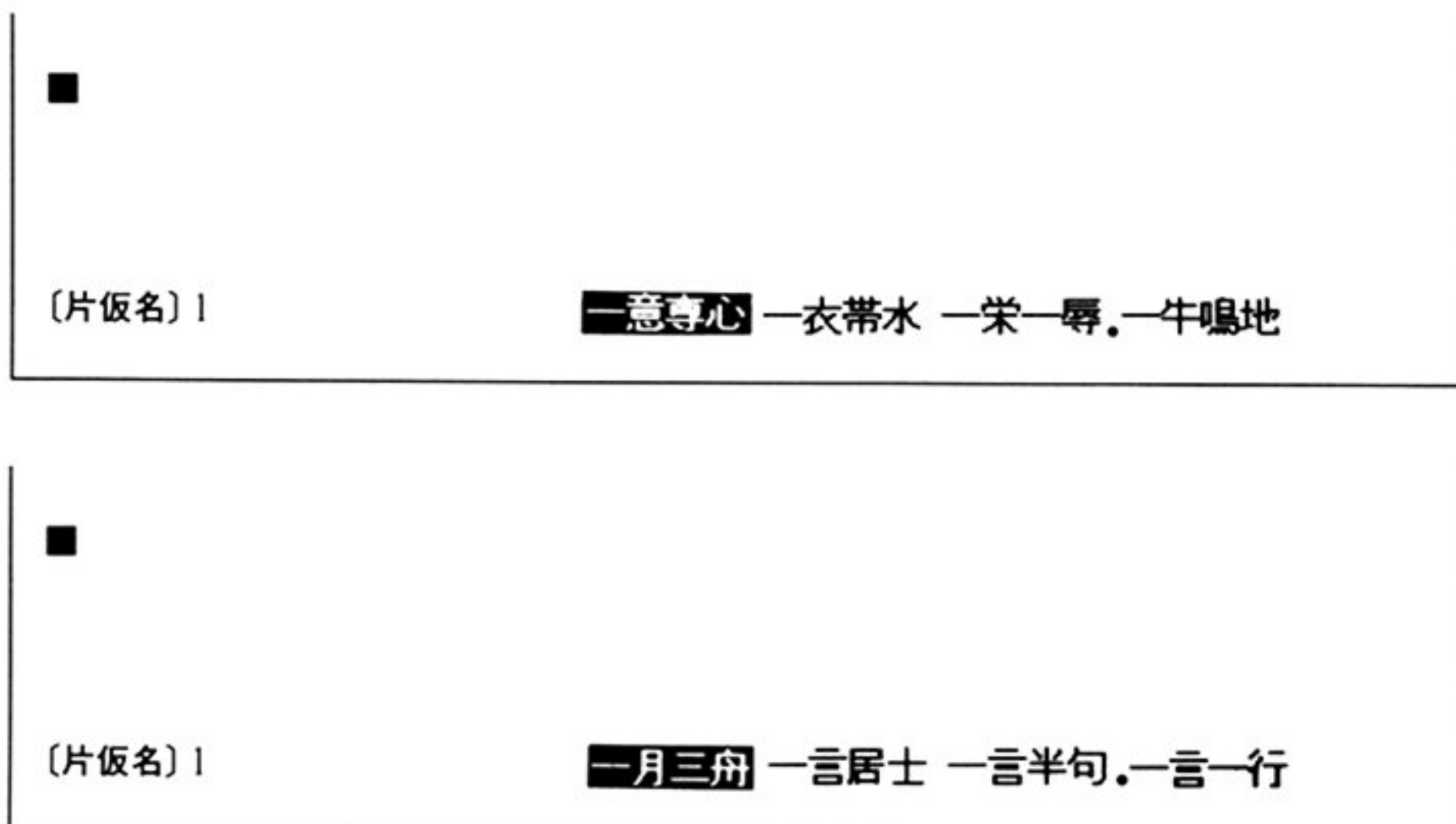
〔片仮名〕ア＄　　　　■ﾖﾐｱｱ 相合傘ｱｲｱｲｶﾞｻ 合図ｱｲｽﾞ．生憎ｱｲﾆｸ

（注：漢字グループの■には、本体内にＪＩＳ第２水準漢字ＲＯＭを装着した場合、ＪＩＳ第２水準漢字が表示されます。）

(7)数字入力

テンキーの数字を入力し、XFER キーを押すと、その数に関連のある四文字成句、ことわざ、関連の内容が出てきます。

（例１）

テンキーの 1 キーを押し、XFER キーを押します。

次々に内容を見るには、XFER キーをその都度押します。

⑻手紙の書き方

①ローマ字入力で T E G A M I とキー入力し、
XFER キーを押します。

XFER キーを押すごとに、いろいろな種類の手紙が表示されます。

②また、いろいろな種類の手紙の慣用的表現も登録されています。

見出し語

テ１	手紙の書き方
テ２	あいさつ・前文・導入部
テ３	断り
テ４	抗議
テ５	おわび、弁明
テ６	祝い
テ７	葬儀・法事・悔やみ
テ８	連絡
テ９	お礼
テ１０	頭語・繋ぎ・終わりのあいさつ・結語・脇付け

(例) たとえば T E 2 とキー入力します。

このように、見出し語を入力すれば手紙の慣用的表現が表示されます。

(9)四文字成句

四文字成句は次の３つの方法により探すことができます。

ⓐ最初の２文字から探す方法

ⓑ意味・内容から探す方法

ⓒ成句中に使われている数字から探す方法

(例) たとえば「孟母三遷」を探す場合

ⓐ最初の２文字から探す方法

ローマ字入力で M O U B O とキー入力し、 XFER キーを押します。

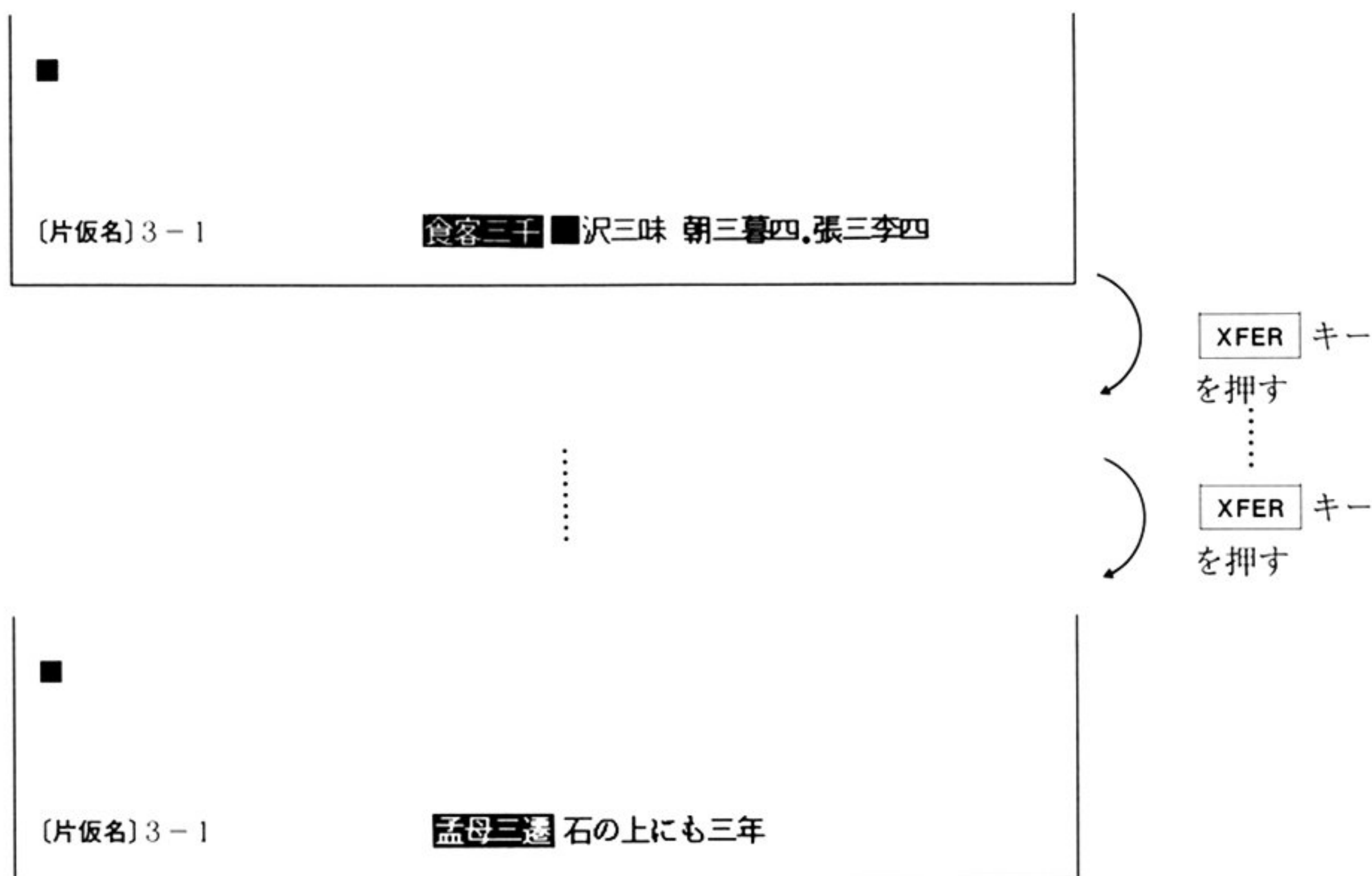
■

〔片仮名〕モウボ　　　　孟母三遷 孟母三遷の教え 孟母断機の教え

これで探したい孟母三遷が見つかりました。

ⓒ成句中に使われている数字から探す方法

テンキーの 3 を押し、 XFER キーを押します。

テンキーの⊟、1キーを押して、XFERキーを押します。

（注：漢字グループの■には、本体内にＪＩＳ第２水準漢字ＲＯＭを装着した場合、ＪＩＳ第２水準漢字が表示されます。）

このように、ⓐ、ⓒのうちいずれからでも「孟母三遷」が探せます。

⑽ことわざ・慣用句

ことわざ・慣用句は次の５つの方法により探し出すことができます。

ⓐ最初のことば（名詞・動詞）から探し出す方法
ⓑ意味・内容から探し出す方法
ⓒ成句中に使われている数字から探し出す方法
ⓓ成句中に使われている動物から探し出す方法
ⓔいろはかるたに使われていたり、最もよく使われていることわざ・慣用句を見出しフ１、フ２、フ３で登録していますので、この中から探し出す方法

⑾ＪＩＳ第２水準漢字

ＪＩＳ第２水準漢字ＲＯＭ（オプション）をコンピュータ本体内に取り付けることにより、ＪＩＳ第２水準の漢字を探し出すことができます。

ⓐ音訓の読みから探し出す方法
ⓑ部首索引から探し出す方法
ⓒ辞書中の類語より探し出す方法
ⓓ付録中の難読漢字群より探し出す方法
ⓔＪＩＳコードによる入力方法
ⓕ同義語・対意語

〔例〕

ⓐの方法

ローマ字入力で O R O S H I とキー入力し、XFER キーを押します。

```
■

〔片仮名〕オロシ          卸 下ろし 颪
```

「颪」はＪＩＳ第２水準漢字です。ＪＩＳ第２水準漢字ＲＯＭが本体内に装着していない場合は「■」が表示されます。

ⓑの方法

ローマ字入力で D A I 2 とキー入力し、XFER キーを押すと次の内容が表示されます。

第2水準（漢字）の部首索引は 部首の画数を”ﾀﾞｲ2-”の後ろに付けて 参照して下さい

(例ﾀﾞｲ2-1, ﾀﾞｲ2-4)

（例）

```
■

〔片仮名〕ダイ２－１          ｰｲﾁﾉﾌﾞ 1ﾎﾞｳﾉﾌﾞ ､ﾃﾝﾉﾌﾞ.ﾉ ﾉｶﾝﾑﾘ
```

部首名一覧が表示されますので、部首名を入力します。

、，ノはＪＩＳ第２水準漢字ＲＯＭを本体内に装着していない場合は■になります。

(12)発想法

①ローマ字入力で A I D E A とキー入力し、XFER キーを押します。

```
■

〔片仮名〕アイデア          ｵｽﾞﾎﾞｰﾝのﾁｪｯｸﾘｽﾄ→ｱ1 NH法→ｱ2
```

XFER キーを押す

```
■

〔片仮名〕アイデア          ｼﾈｸﾃｨｸｽの原理→ｱ3
```

画面に表示されるように、オズボーンのチェックリスト、ＮＨ法、シネクティクスの原理のアイデア発想法のリストがでてきます。

② ESC キーを押し、CLR HOME キーを押します。

たとえば A 1 とキー入力し、 XFER キーを押すと、

■

〔片仮名〕ア１　　他に使い道はないか

となり、次々に XFER キーを押せば「オズボーンのチェックリスト」がわかります。

見出し語

ア１	オズボーンのチェックリスト
ア２	ＮＨ法
ア３	シネクティクスの原理

⒀その他

次の見出し語を入力すれば、見たい内容が表示されます。

①電報(デンポウ)

見出し語	内容
デ１	祝電

②古典作品の書き出し

見出し語	内容
コテン１	古事記
コテン２	日本書紀
コテン３	竹取物語
コテン４	土佐日記
コテン５	伊勢物語
コテン６	枕草子

コテン7	源氏物語
コテン8	徒然草
コテン9	平家物語
コテン10	奥の細道
コテン11	方丈記

③擬音・擬態語を入力すると、状態・一般的なことばがでてきます。

（例1）ローマ字入力で P O T U P O T U とキー入力し、
XFER キーを押します。

■

〔片仮名〕ポツポツ　　突起 穴 まばら

（例2）ローマ字入力で P O T O P O T O とキー入力し、
XFER キーを押します。

■

〔片仮名〕ポトポト　　水滴 落下

辞書変更ユーティリティ

辞書の内容というものは、使う人によって必要なもの、不要なものがかなり異なります。特に、人名、地名などは必要なものが登録されていないという不満をお持ちの方もいらっしゃることでしょう。

ターボ博士レキシコン"ＬＥＸＩＣＯＮ"、日本語百科ワードパワー"ＷＯＲＤ　ＰＯＷＥＲ"には極力多くのことばを収録しましたので原則としては追加できません。しかし、そういう方のために、このユーティリティを使用することによりレキシコン、ワードパワーに登録されていることばのうち、不要なものを削除したり、必要なものを登録したり…ということも簡単にできるようにしています。登録可能な文字数を考慮に入れてこのユーティリティを使用してください。

〈ご使用前に〉

①この辞書変更ユーティリティはレキシコン、ワードパワー専用です。
　オプションのシステムユーザー辞書（ＣＺ－１１１ＳＦ）は、このユーティリティで変更しないでください。辞書が破壊される恐れがあります。

②ＢＡＳＩＣ起動時、ＮＥＷＯＮ■と表示しますが、このユーティリティはＮＥＷＯＮ４以上（０～３以外）のレベルで使用してください。

1　操作方法

①辞書変更ユーティリティは、レキシコンに登録されています。
　レキシコンをフロッピーディスクドライブ０に入れて、

```
FILES"0:" ⏎
```

と入力します。

```
          ⋮
Bas     "0:辞書変更ﾀｰﾎﾞ2.Uty"
```

「Ｂａｓ」の「Ｂ」のところにカーソルをもっていき、ＲＵＮ⏎と入力してください。

```
RUN     "0:辞書変更ﾀｰﾎﾞ2.Uty" ⏎
```

②（図１）

```
どの辞書を変更しますか?

日本語百科  WORD POWER (ﾜｰﾄﾞﾊﾟﾜｰ)
ﾀｰﾎﾞ博士   L E X I C O N (ﾚｷｼｺﾝ)

カーソル キーで 選択後 リターン キーを押してください。 [ESC] = 終了
```

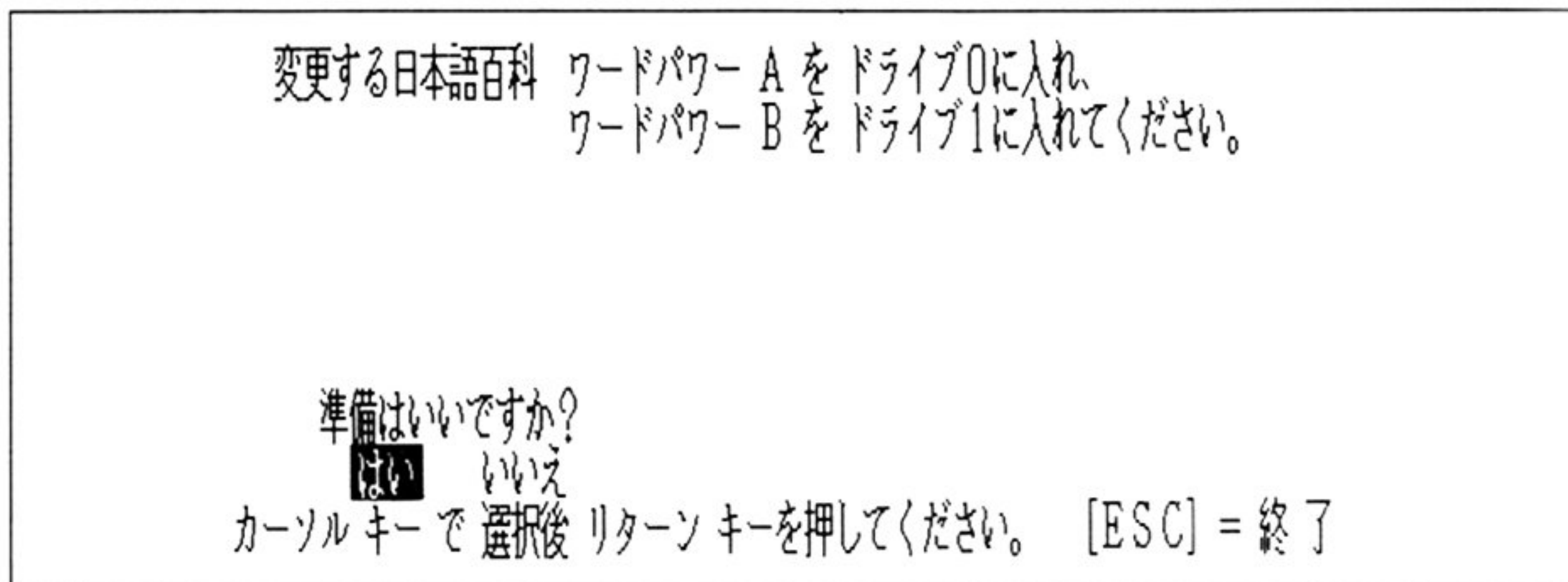
この画面でワードパワーを変更したい場合はそのまま ⏎ キーを、レキシコンを変更したい場合はカーソルコントロールキー ⇩ を１度押して ⏎ キーを押します。
ここではワードパワーの変更（削除、登録）を説明します。
（注：コピーしたディスクをお使いください。）

１．１ 文字の削除

①図１で ⏎ キーを押してください。

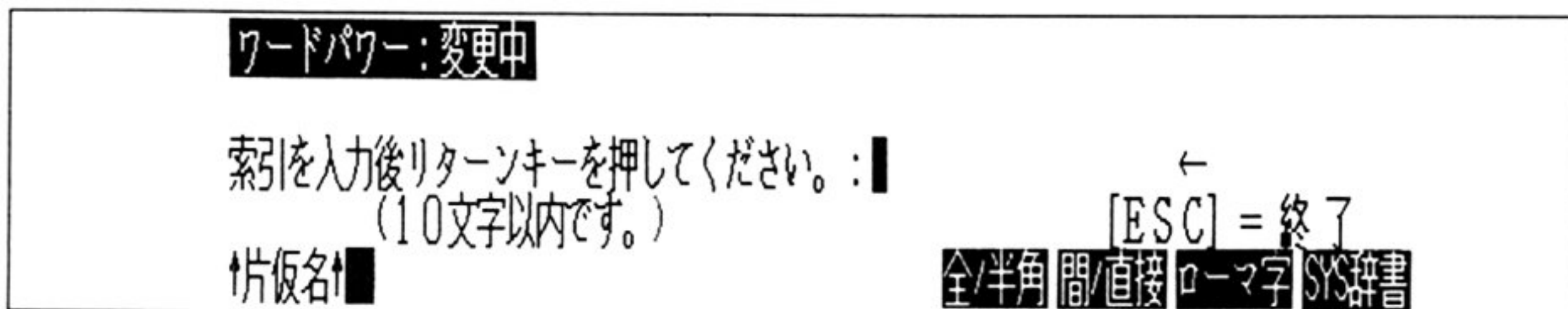
（図２）

変更する日本語百科 ワードパワー A を ドライブ0に入れ、
ワードパワー B を ドライブ1に入れてください。

準備はいいですか?
はい　いいえ
カーソル キー で 選択後 リターン キーを押してください。 [ESC] = 終了

②ワードパワーＷＯＲＤ　ＰＯＷＥＲ（Ａ）をフロッピーディスクドライブ０に
ＷＯＲＤ　ＰＯＷＥＲ（Ｂ）をフロッピーディスクドライブ１に
入れて、⏎ キーを押してください。次の画面になります。

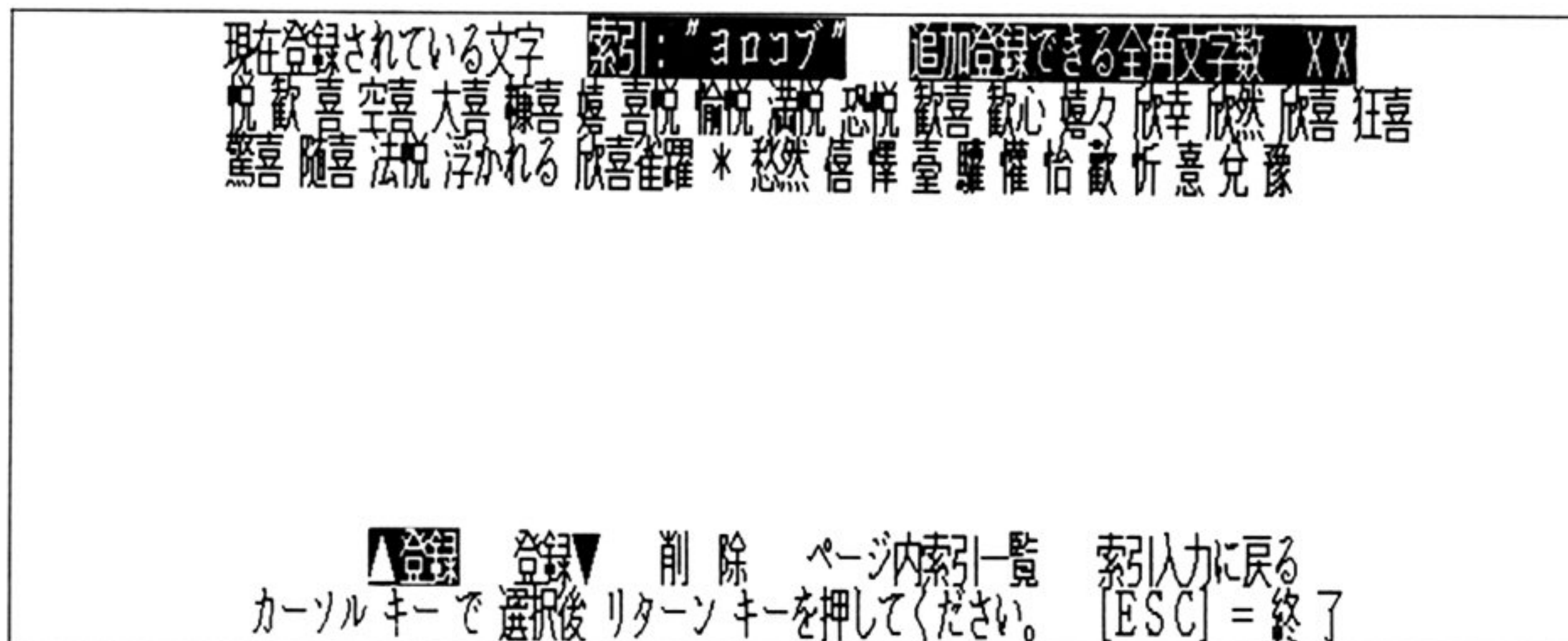
（図３）

ワードパワー：変更中

索引を入力後リターンキーを押してください。：▌　←
（10文字以内です。）　[ESC] = 終了
片仮名▌　全/半角 間/直接 ローマ字 SYS辞書

③ここでは「ヨロコブ」の内容を変更する例を述べます。
ローマ字入力で Y O R O K O B U キーを押し、⏎ キーを押します。

（図４）

現在登録されている文字　索引："ヨロコブ"　追加登録できる全角文字数　XX
悦 歓 喜 空喜 大喜 糠喜 嬉 喜悦 愉悦 満悦 恐悦 歓喜 歓心 嬉々 欣幸 欣然 欣喜 狂喜
驚喜 随喜 法悦 浮かれる 欣喜雀躍 ＊ 愁然 僖 懌 臺 驩 懽 怡 歡 忻 憙 兌 豫

▲登録　登録▼　削 除　ページ内索引一覧　索引入力に戻る
カーソル キー で 選択後 リターン キーを押してください。 [ESC] = 終了

（画面の僖～豫の１１文字は、ＪＩＳ第２水準漢字です。ＪＩＳ第２水準漢字ＲＯＭがコンピュータ本体内に装着されていない場合は、この１１文字は■が表示されます。）

④カーソルキー ⇨ で **削除** を選択して ↵ キーを押すと次の表示となります。

（図5）

```
一部削除　全部削除　削除終了
カーソル キー で 選択後 リターン キーを押してください。 [ESC] = 終了
```

⑤ **一部削除** を選択し、↵ キーを押してください。（**全部削除** を選ぶと、この索引に登録されている文字がすべて削除されます）

（図6）のような画面になりますから、あとは削除したい文字の上にカーソルを移動してリターンキーを押してください。（〔**削除終了**〕を選ぶと、（図4）の画面に戻ります）

⑥（図6）

```
現在登録されている文字　　索引："ヨロコブ" 追加登録できる全角文字数 XX
悦 歓 喜 空喜 大喜 棟喜 嬉 喜悦 愉悦 満悦 恐悦 歓喜 歓心 嬉々 欣幸 欣然 欣喜 狂喜
驚喜 随喜 法悦 浮かれる 欣喜雀躍 ＊ 怒然 僖 懌 臺 驩 懽 怡 歡 忻 憙 兌 豫[削除終了]

どの文字を削除しますか？
カーソル キー で 選択後 リターン キーを押してください。 [ESC] = 終了
```

⑦このとき、たとえば「欣幸」を削除したい場合は、カーソルキー ⇦ で「欣幸」のところにもっていき ↵ キーを押します。

（図7）

```
現在登録されている文字　　索引："ヨロコブ" 追加登録できる全角文字数 XX
悦 歓 喜 空喜 大喜 棟喜 嬉 喜悦 愉悦 満悦 恐悦 歓喜 歓心 嬉々 欣幸 欣然 欣喜 狂喜
驚喜 随喜 法悦 浮かれる 欣喜雀躍 ＊ 怒然 僖 懌 臺 驩 懽 怡 歡 忻 憙 兌 豫[削除終了]

どの文字を削除しますか？
カーソル キー で 選択後 リターン キーを押してください。 [ESC] = 終了
```

（図８）

キーを押す

```
現在登録されている文字      索引："ヨロコブ" 追加登録できる全角文字数 XX
悦 歓 喜 空喜 大喜 棘喜 嬉 喜悦 愉悦 満悦 恐悦 歓喜 歓心 嬉々 欣幸 欣然 欣喜 狂喜
驚喜 随喜 法悦 浮かれる 欣喜雀躍 ＊ 愁然 僖 懌 憙 驩 懽 怡 歡 忻 憙 兌 豫 [削除終了]

"欣幸" を削除します。
はい  いいえ
カーソル キー で 選択後 リターン キーを押してください。  [ESC] = 終了
```

⑧「欣幸」を削除しますから、キーを押しますと図９のようになりますので、削除を終了するならそのままキーを押します。

（図９）

```
現在登録されている文字      索引："ヨロコブ" 追加登録できる全角文字数 XX
悦 歓 喜 空喜 大喜 棘喜 嬉 喜悦 愉悦 満悦 恐悦 歓喜 歓心 嬉々 欣然 欣喜 狂喜 驚喜
随喜 法悦 浮かれる 欣喜雀躍 ＊ 愁然 僖 懌 憙 驩 懽 怡 歡 忻 憙 兌 豫 [削除終了]

どの文字を削除しますか？
カーソル キー で 選択後 リターン キーを押してください。  [ESC] = 終了
```

キーを押す

（図１０）

```
現在登録されている文字      索引："ヨロコブ" 追加登録できる全角文字数 XX
悦 歓 喜 空喜 大喜 棘喜 嬉 喜悦 愉悦 満悦 恐悦 歓喜 歓心 嬉々 欣然 欣喜 狂喜 驚喜
随喜 法悦 浮かれる 欣喜雀躍 ＊ 愁然 僖 懌 憙 驩 懽 怡 歡 忻 憙 兌 豫

▲登録  登録▼  削 除  ページ内索引一覧  索引入力に戻る
カーソル キー で 選択後 リターン キーを押してください。  [ESC] = 終了
```

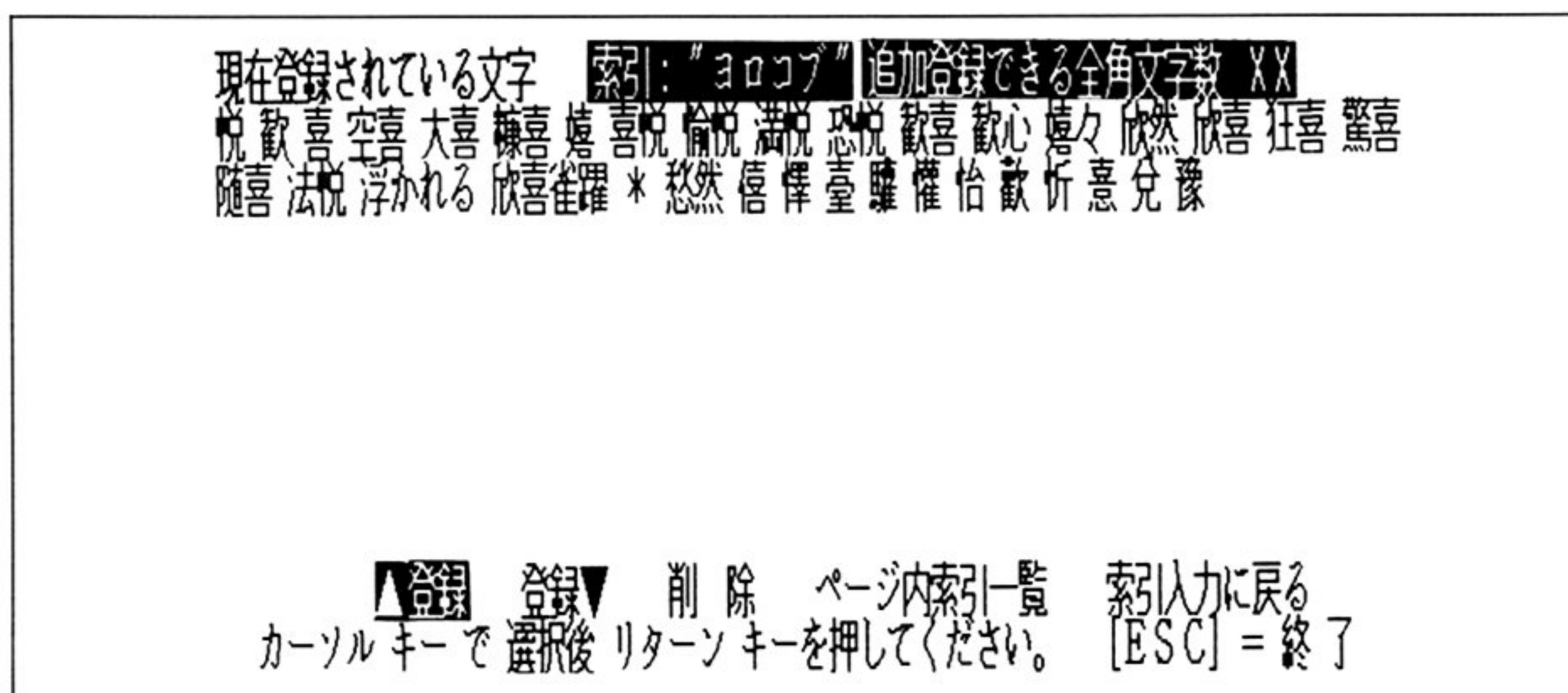
⑨フロッピーディスクの容量の関係で、辞書に登録できる文字数には限度がありますが、このように使用頻度の少ない文字を削除して、そのかわりに必要な文字を追加登録することもできます。ことばを削除するとき、次のことばの先頭文字が半角文字である場合は削除することはできません。

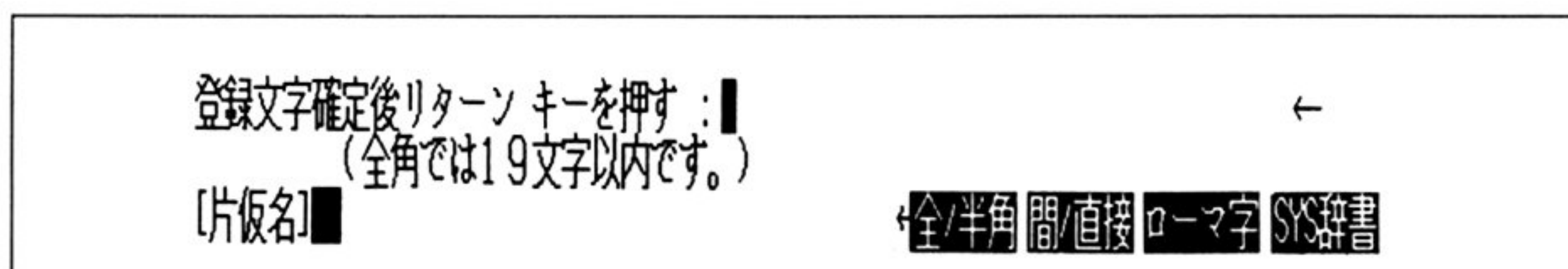
1．2 文字の登録

ワードパワーにことばを書き込んでいく登録の場合は、次のように行ないます。
1・1文字の削除では索引「ヨロコブ」から「欣幸」を削除しました。続いて索引「ヨロコブ」に「幸福」を登録します。

①図3で、[Y] [O] [R] [O] [K] [O] [B] [U] とキー入力し、[⏎] キーを押します。
（図11）

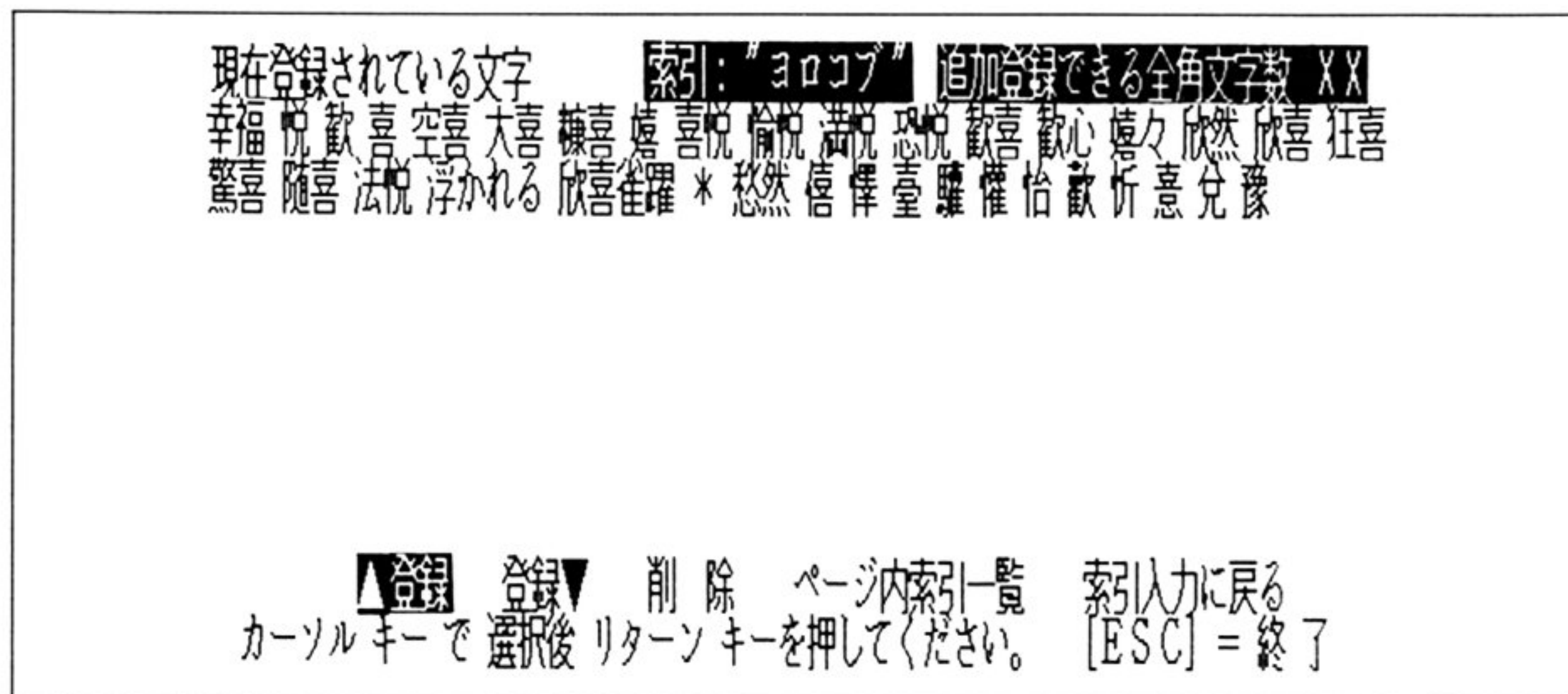
```
現在登録されている文字　索引："ヨロコブ" 追加登録できる全角文字数 XX
悦 歓 喜 空喜 大喜 糠喜 嬉 喜悦 愉悦 満悦 恐悦 歓喜 歓心 嬉々 欣然 欣喜 狂喜 驚喜
随喜 法悦 浮かれる 欣喜雀躍 ＊ 愁然 僖 懌 臺 驩 懽 怡 歓 忻 憙 兌 豫

△登録　登録▼　削 除　ページ内索引一覧　索引入力に戻る
カーソル キーで 選択後 リターン キーを押してください。　[ESC] = 終了
```

②次に文字の登録モードに入るには、[△登録] か [登録▽] のどちらかを選びます。[△登録] を選ぶと先頭に、[登録▽] を選ぶと一番後ろに登録されます。ここではそのままリターンキーを押してください。（つまり [△登録] を選択します。）
画面下に（図12）のように表示されます。
（図12）

```
登録文字確定後リターン キーを押す：▌　　　　　　←
　　　（全角では19文字以内です。）
[片仮名]▌　　　　　　　　　　　全/半角 間/直接 ローマ字 SYS辞書
```

③K O U F U K U とキー入力し、XFER キーを押します。
「幸福」と変換フィールドエリアに表示しますのでこれを登録文字のエリアへうつすため ⏎ キーを押します。この内容を確認後再度 ⏎ キーを押します。

（図１３）

現在登録されている文字　索引："ヨロコブ"　追加登録できる全角文字数 XX
幸福 悦 歓 喜 空喜 大喜 糠喜 嬉 喜悦 愉悦 満悦 恐悦 歓喜 歓心 嬉々 欣然 欣喜 狂喜
驚喜 随喜 法悦 浮かれる 欣喜雀躍 ＊ 愁然 僖 懌 臺 驩 懽 怡 歡 忻 意 兌 豫

▲登録　登録▼　削 除　ページ内索引一覧　索引入力に戻る
カーソル キー で 選択後 リターン キーを押してください。　[ESC] = 終 了

④さて、ここで登録された文字を見ると"幸福""悦"の順に並んでいるはずです。

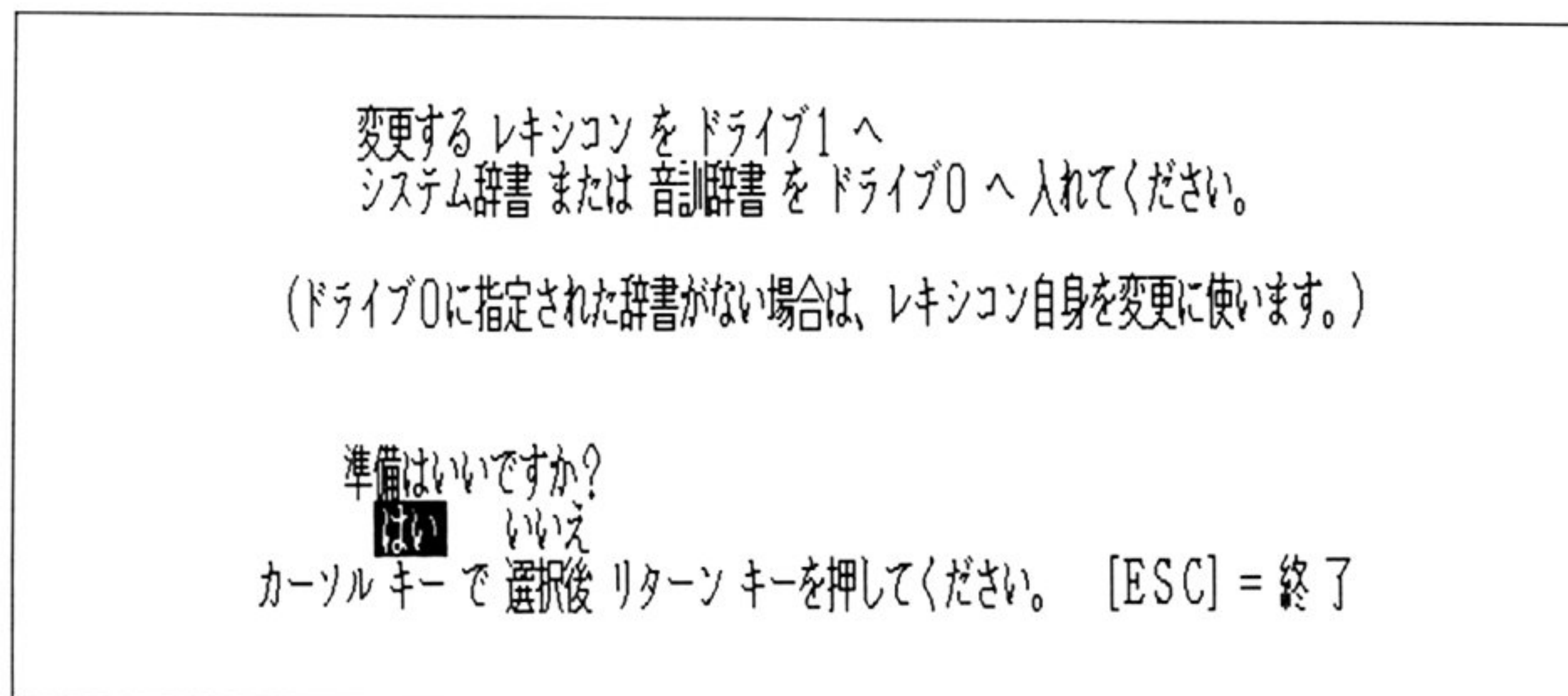
注意

(1)各索引に登録されていることばの先頭の文字はすべて全角文字になっている必要があります。
半角文字を先頭にもつことばを登録する場合は、登録▽ を選択して一番後ろに登録してください。
先頭に登録することはできません。
(2)アスキーコードで＆Ｈ２０以下は索引に使用できません。
(3)登録する文字の場合、"．""／"以外は使用できます。ただし、全角文字として登録されます。
(4)セミグラフィック文字は、使用できません。

レキシコンを変更（削除・登録）するには、今まで述べたワードパワーとほぼ同様に行なえますが、異なる点についてのみ説明します。
①図１で、カーソルキー ⇩ を押して ⏎ キーを押すと、レキシコンに設定されます。
（図１４）

変更する レキシコン を ドライブ1 へ
システム辞書 または 音訓辞書 を ドライブ0 へ 入れてください。

（ドライブ0に指定された辞書がない場合は、レキシコン自身を変更に使います。）

準備はいいですか？
はい　いいえ
カーソル キー で 選択後 リターン キーを押してください。　[ESC] = 終 了

②ここでは、変更に使う辞書を音訓辞書にします。(音訓辞書はディスクＢＡＳＩＣのマスターディスクに収納されています)

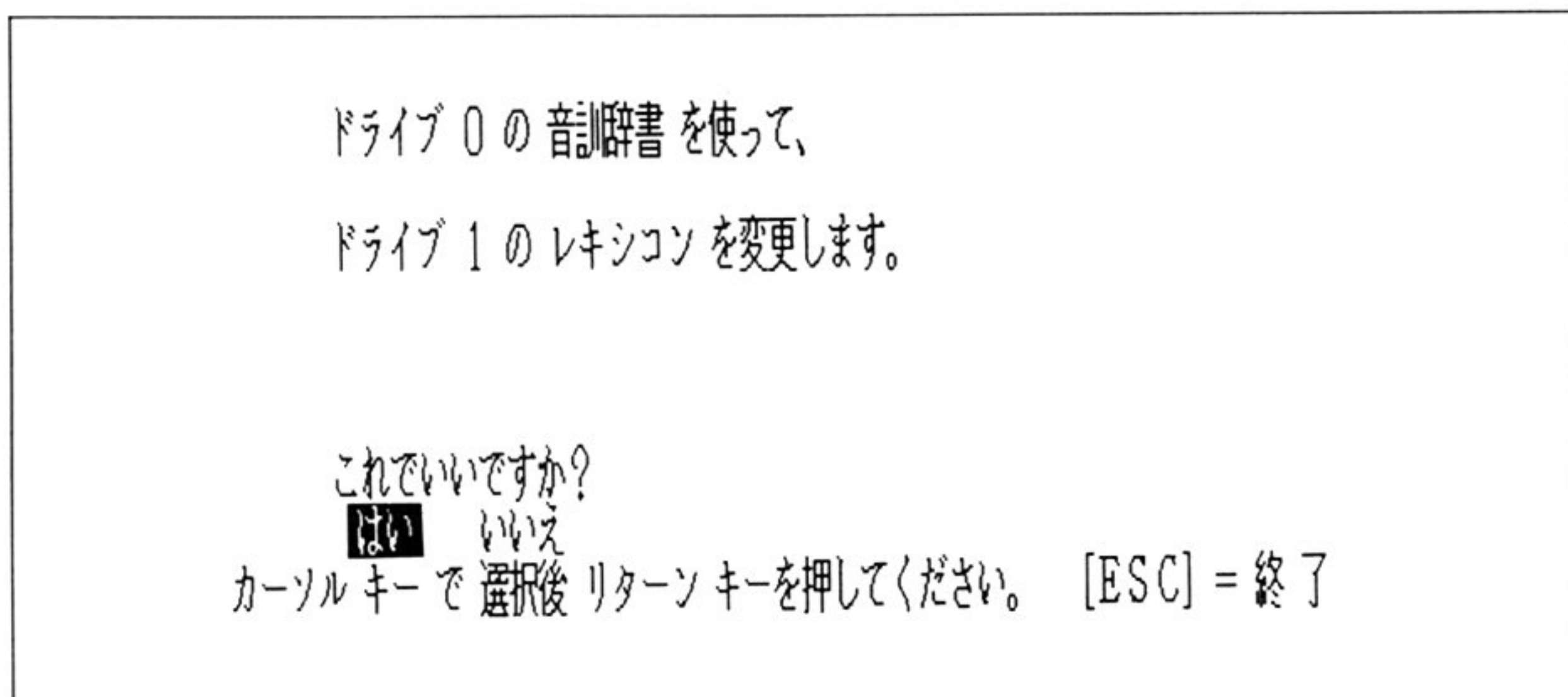
準備ができたら はい で ⏎ キーを押してください。次の画面になります。

(図１５)

```
ドライブ 0 の 音訓辞書 を使って、

ドライブ 1 の レキシコン を変更します。



これでいいですか?
はい   いいえ
カーソル キー で 選択後 リターン キーを押してください。 [ESC] = 終了
```

よければ ⏎ キーを押してください。

これ以降は、ワードパワーと同様の操作手順で変更してください。

2 エラーメッセージ一覧表

メッセージ	原因・対処
ディスクの準備ができていません。	●ディスク装置の電源がはいっていない。 ●接続ケーブルがはずれている。 ●ディスクがセットされていない。
ディスクが読み書きできません。	●ディスクがこわれている。 ●ディスクがフォーマットされていない。
レキシコン(ワードパワー)が書き込み禁止状態で登録されています。	●ユーティリティを終了してＢＡＳＩＣのＳＥＴコマンドでレキシコン(ワードパワー)の書き込み状態を解除してください。
ＮＥＷＯＮ０～３以外で、ＢＡＳＩＣを再起動してください。	●ＮＥＷＯＮ４以上のＢＡＳＩＣでないと使用できない。
ディスクが書き込み禁止状態になっています。	●ディスクにライトプロテクトがかかっています。 プロテクト用シール、タブ等のチェックをしてください。
レキシコン(ワードパワー)が壊れています。	●別の辞書で再実行してください。
エラーした行＿＿＿，エラーNo.＿＿＿	●エラーコード(番号)のエラーがおこりました。 ＢＡＳＩＣ ＲＥＦＥＲＥＮＣＥ ＭＡＮＵＡＬのエラーメッセージ一覧表参照。
先頭には半角で始まる語句は登録できません。	●辞書の構造上一番初めの文字は全角文字になっています。 先頭を全角文字にしてください。
次の語句が半角で始まるので削除できません。	
ディスクタイプが違います。	●使用できるディスクタイプは２Ｄ(両面倍密)です。
文字を登録するスペースがありません。	●同一ページ内の文字を削除すれば追加登録できます。
索引を登録するスペースがありません。	
索引に漢字は使えません。	
索引に空白、"．" "／"は使えません。	

シャープ株式会社

本　　　　　社	〒545	大阪市阿倍野区長池町22番22号 電話　06（621）1221（大代表）
電子機器事業本部	〒329-21	栃木県矢板市早川町174番地 電話　02874（3）1131（大代表）

お客様へ……お買いあげ年月日、お買いあげ店名を記入されますと、修理などの依頼のときに便利です。

お買いあげ年月日	年　　月　　日
お買いあげ店名	 電話番号
もよりの お客様ご相談窓口	 電話番号

TMAN-3624CEZZ

T0804-A　⑤